



# 寒川文書館年報

第12号

平成30年度

寒川文書館

# 目 次

1	寒川文書館の概要	3
	(1) 設立の目的	4
	(2) 基本理念	4
	(3) 沿革	4
	(4) 組織と事務分掌	5
	1) 寒川文書館運営審議会	
	2) 寒川町史編集委員会	
	3) 事務局	
	4) 事務分掌	
	(5) 施設の概要	7
	(6) 利用案内	8
2	平成30年度の事業	9
	(1) 文書館運営審議会	10
	(2) 公文書の収集	10
	1) 有期限文書の選別	
	2) 永年保存文書の移管	
	3) 中間庫からの移動	
	(3) 地域資料の収集・整理	11
	1) 資料の寄贈・寄託	
	2) 資料の公開承諾	
	3) 行政刊行物等の収集	
	(4) 資料の利用	12
	1) 職員の利用状況	
	2) 開館日数および入館者	
	3) 閲覧	
	4) 貸出	
	5) レファレンス	
	6) 特別利用	
	7) 視察の受け入れ	
	(5) 資料の保存	15
	1) 燻蒸	
	2) 蔵書点検	
	3) その他	
	(6) 資料の普及等	15
	1) 町史講座	
	2) 講座	
	3) 展示	
	4) 図書館連携事業	
	5) 学校連携	

6) ボランティア	
7) 古文書愛読会	
8) SNSによる情報発信	
9) マッチラベルコレクションのデジタル化・公開事業	
(7) 刊行物の作成 -----	20
1) 第124回町史編集委員会の開催	
2) 刊行物の発行	
(8) 職員研修 -----	20
(9) 対外的活動 -----	21
1) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	
2) 神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会	
3) 茅ヶ崎市・寒川町広域連携	
4) 講座講師等の派遣	
5) 依頼原稿の執筆	
3 令和元年度の事業計画 -----	25
(1) 館運営 -----	26
(2) 公文書の収集・整理 -----	26
(3) 地域資料の収集・整理 -----	27
(4) 資料の保存 -----	28
(5) 資料の普及 -----	28
(6) 刊行物の作成 -----	30
(7) 職員研修 -----	31
(8) 広域的な活動 -----	31
4 参考資料 -----	33
(1) 閲覧できる資料 -----	34
(2) 条例・規則・要綱 -----	44
1) 寒川文書館条例	
2) 寒川文書館条例の施行期日を定める規則	
3) 寒川文書館管理運営規則	
4) 寒川文書館運営審議会規則	
5) 寒川文書館寄贈及び寄託資料受入要綱	
6) 寒川町史編集委員会規則	
(3) 燻蒸事業に関する要望書 -----	63
(4) 公文書館法 -----	64
(5) 公文書の管理に関する法律（抄） -----	65
(6) 全国の公文書館 -----	65
(7) 町史刊行物 -----	67

# 1 寒川文書館の概要

## (1) 設立の目的

郷土の歴史的、文化的価値を有する町の公文書、地域資料、刊行物その他の記録を収集し、保存し、広く利用に供することにより、地域文化の発展に寄与する。

## (2) 基本理念

### ①寒川の記録資料を後世に伝える文書館

公文書館法にもとづき、寒川町に関する歴史的公文書、古文書、写真、映像などあらゆる記録資料を保存し、後世に残していく。

### ②すべての人々が利用できる開かれた文書館

歴史を研究する人のみならず、寒川のことを調べたいあらゆる人にわかりやすく情報提供を行う。

### ③郷土愛と未来の創造に役立つ文書館

収集した資料を、文化情報資源として、まちづくりや生涯学習などに活用していただけるよう、きめの細かいレファレンスを行い、郷土寒川への愛着や、未来の寒川への展望に寄与する。

### ④行政の説明責任を果たす文書館

公文書や行政刊行物など、過去の行政情報を保存・公開することで、情報公開制度とともに住民に対するアカウンタビリティ（説明責任）を果たす。

### ⑤みんなが足を運びたくなる文書館

展示、講座などを積極的に行うとともに、資料整理や調査などにボランティアが参加できる機会を多く設け、町民が集える空間をつくる。

## (3) 沿革

※名称はすべて当時のものである

昭和60年(1985) 4月	町史編さん準備担当者を企画室企画調整係に配属する
61年(1986) 1月	第1回町史編さん審議会を開催、基本構想を策定する
4月	町史編さん室を設置、編さん事業を開始する
63年(1988) 4月	町史編さん課となる
平成元年(1989) 1月	町史編さん審議会が資料保存・活用の先進機関を視察する(H8.4まで9回、21機関)

2年(1990)11月	『寒川町史』刊行を開始する
11年(1999)8月	町史編さん審議会が「町史編さん資料の保存・活用に関する要望書」を町長に提出する
14年(2002)4月	寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」スタート、文書館建設検討が位置づけられる
9月	総合図書館等建設検討委員会を開催する(～H15.3)
10月	町史編さん審議会が「文書館の業務に関する提言書」を町長に提出する
15年(2003)2月	『寒川町史』本編全16巻の刊行が完結する 「寒川町歴史資料保存活用基本計画」を策定する
3月	「(仮称)寒川町総合図書館基本計画」を策定する
4月	企画部企画課町史編さん担当となる
8月	寒川総合図書館・文書館の基本設計を行う
16年(2004)3月	寒川総合図書館・文書館の実施設計を行う
7月	図書館開設準備協議会を設置する
11月	寒川総合図書館・文書館が着工する
17年(2005)9月	(仮称)寒川町総合図書館開設準備協議会が「(仮称)寒川町文書館の運営に関する協議結果報告書」を町長に提出する
18年(2006)2月	寒川文書館運営方針が策定される
3月	寒川文書館条例を制定する
6月	寒川総合図書館・文書館が竣工する
10月	寒川文書館管理運営規則等を制定する
11月	寒川総合図書館・文書館が開館する
19年(2007)4月	機構改革により、総務部総務課の所管となる
6月	寒川文書館運営審議会が発足する
9月	写真整理ボランティアがスタートする
21年(2009)4月	新聞整理ボランティアがスタートする
25年(2013)7月	古文書愛読会が発足する
28年(2016)11月	開館10周年記念事業として、展示・シンポジウムを実施する
29年(2017)4月	庁舎管理について指定管理者制度を導入する
30年(2018)7月	平日の開館時間を17時まで短縮する

#### (4) 組織と事務分掌

##### 1) 寒川文書館運営審議会

文書館条例および文書館運営審議会規則にもとづき、2年任期で6名を委嘱。文書館の年間事業計画、資料の収集・整理・保存・活用の方針などについて審議する。

任期（令和元年6月29日～令和3年6月28日）

選出区分	氏名	備考
町立小中学校長（1名）	金子吉則	寒川小学校校長
寒川町史編集委員会委員（1名）	内海孝	副会長
学識経験を有する者（1名）	小川千代子	国際資料研究所、会長
ボランティア又は資料所蔵者（1名）	佐原慧	寒川神社方徳資料館
公募による町民（2名）	橋本壽之	
	木場陽子	

平成25年度末をもって町議会からは委員を選出しないこととなった。

## 2) 寒川町史編集委員会

町史編集委員会規則にもとづき、3年任期で5名を委嘱。文書館の所管である町史刊行物の刊行のため、調査・編集を行う。

任期（平成30年12月20日～令和3年12月19日）

担当分野	氏名	備考
委員長、宗教部門	圭室文雄	明治大学名誉教授
考古部門	鈴木保彦	前日本大学教授
古代・中世部門	鳥養直樹	前文教大学講師
近世部門	大口勇次郎	お茶の水女子大学名誉教授
近・現代部門	内海孝	東京外国語大学名誉教授

## 3) 事務局

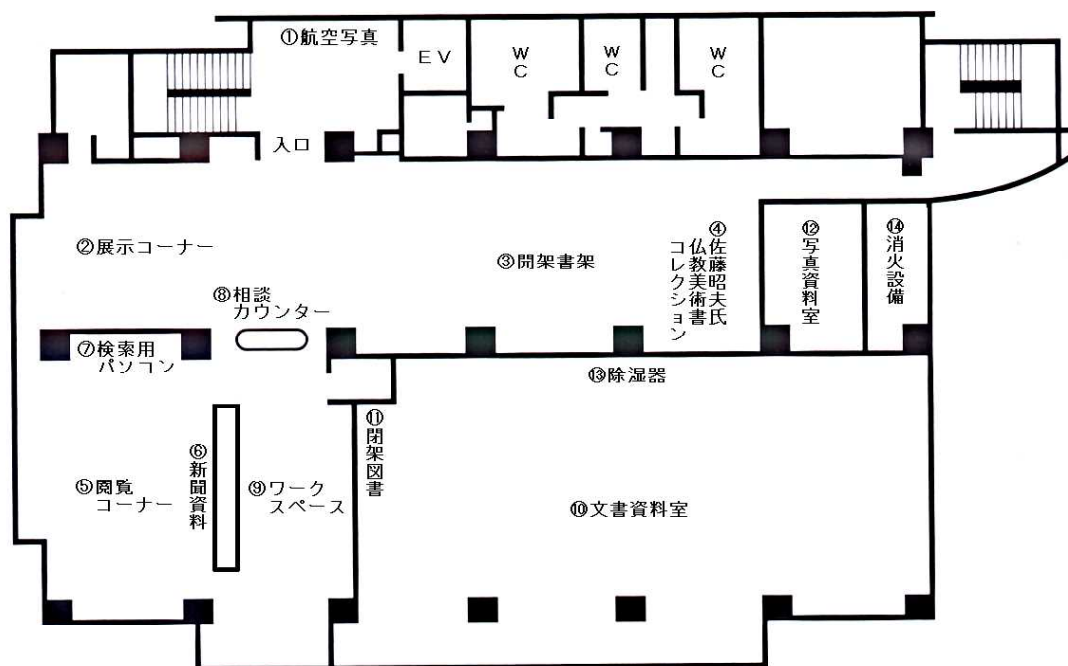
総務部長	野崎誠
総務課長	三橋義明
専任主幹兼文書館長	高木秀彰
主任主事	平尾直樹
資料取扱専門員	鳥養圭美

ほか臨時職員2名（令和元年7月現在）

## 4) 事務分掌

- ・文書館の管理に関すること。
- ・文書館の使用承認に関すること。
- ・文書館運営審議会に関すること。
- ・町史編さんに関すること。
- ・町史編集委員会に関すること。
- ・町に関する記録、資料の収集、調査、保存及び活用に関すること。
- ・行政刊行物の収集、保存及び活用に関すること。
- ・郷土年表作成に関すること。
- ・文書館内の庶務に関すること。

(5) 施設の概要



<総合図書館の概要>

敷地面積 2,752.74㎡  
 建築面積 1,461.24㎡  
 延床面積 4,707.14㎡  
 最高高さ 19.868m

設計監修 木野設計事務所  
 建設着工 平成16年11月25日  
 建設竣工 平成18年6月26日  
 建設費 1,914,410,719円

構造 鉄筋鉄骨（SRC）造  
 地下1階地上4階建て

<4階・文書館フロアの内訳>

発注者 神奈川県企業庁「地域振興施設等  
 整備事業（市町村要請事業）」  
 施行建築 亀井・富士特定建設工事共同企業体  
 電気 (株)東光商会  
 空調 南・森川特定建設工事共同企業体  
 衛生 (株)勝栄工業  
 昇降機 (株)日立製作所横浜支社  
 書架 (株)キハラ  
 設計監理 (株)小林建築事務所

文書資料室 256.0㎡  
 開架書架 124.7㎡  
 写真資料室 24.0㎡  
 閲覧コーナー 72.7㎡  
 ワークスペース 67.4㎡  
 展示コーナー 85.8㎡  
 窒素ボンベ室 12.7㎡  
 書架延長 2,539m  
 4階総面積 844.3㎡





①航空写真



②展示コーナー



③開架書架



④佐藤昭夫氏仏教美術書コレクション



⑤閲覧コーナー



⑥新聞資料



⑦検索用パソコン



⑧相談カウンター



⑨ワークスペース



⑩文書資料室



⑫写真資料室



⑭消火設備

## (6) 利用案内

休館日：毎週月曜（国民の祝日にあたる場合は開館）、  
年末年始、特別整理日

開館時間：午前9時～午後5時  
（平成30年7月より変更）



⑬除湿機

## 2 平成30年度の事業

## はじめに

寒川町は昭和61年（1986）、町史編さん事業を開始した。

それは、寒川にかかわる史資料が散逸する状況を憂え、かけがえのない資料を町の財産として後世に長く残すことを町政の基本としたためである。寒川町は昭和15年(1940)、町制を施行したが、それ以前の、明治22年(1889)に成立した寒川村役場時代の文書類も、江戸時代からの地域文書も、その実態は確かなものではなかったからである。

町は、このような経緯を踏まえて町史事業の進展後の、史資料の保存と活用計画を町史編さん事業の視野に入れた。いわば、将来の文書館につなげるような計画を構想したのである。

その結果として、寒川町は平成18年(2006)11月、寒川文書館を開館した。町職員、町民だけでなく、地域外の人びとにとっても大切な史資料を保存し、活用できる施設が設置されたのである。この平成30年(2018)度には、満12年を迎えた。前年度に引き続き、町の公文書や地域資料を収集し保存して、町職員や一般利用者への閲覧や問い合わせ業務を遂行できるように、町立の公文書館としての基本的業務を果たしつつある。

なお、平成29年度からは、指定管理者制度が導入された。総合図書館は全面的に、文書館は庁舎管理のみについて民間企業に委ねることになった。しかし、これまでどおり両館が協力し合いながら、資料の収集と保存、利用者サービス、普及活動などを推進している。

### (1) 文書館運営審議会

#### ○第23回会議

開催日 平成30年7月25日

議 題 ・平成29年度事業結果報告  
・平成30年度事業計画

#### ○第24回会議

開催日 平成31年2月28日

議 題 ・平成30年度事業中間報告  
・平成31年度事業計画

### (2) 公文書の収集

#### 1) 有期限文書の選別

保存期限の経過後、歴史的価値があると認められ、選別収集したもの。

年 度	箱数	ファイル数
平成29年以前累計	3 3 2	4,993
平成30年3月	1 3	175
合 計	3 4 5	5,168

(書架延長 141m)

箱は、横41cm×奥28cm×高33cmの文書保存箱

件名目録および公開基準が未整備のため、閲覧対象となっていない。

**2) 永年保存文書の移管**

永年保存文書のうち、30年を経過していないものを中間庫に収蔵。

- ・平成30年4月に平成27年度の文書7箱を本庁から移動。

昭和62～平成27年度の文書 451箱

- ・他に、農政課土地改良台帳 2箱

合計 453箱（書架延長 186m）

**3) 中間庫からの移動**

30年以上経過した永年保存文書を、中間庫から「30年経過文書」の棚へ移動。

昭和61年度：中間庫より移動 16箱

昭和61年度以前の文書 424箱

合計 440箱（書架延長 180m）

**(3) 地域資料の収集・整理****1) 資料の寄贈・寄託**

## ○寄贈資料

日付	寄贈者（敬称略）	点数	主な内容
6月17日	錦織久	5	『開田村史』、『木曾福島町史』
6月29日	塚越富夫	1	1972年度旭小学校卒業記念アルバム
11月29日	加藤哲史	3	『国幣中社寒川神社略記』ほか
11月29日	野中正博	1	大黒屋マッチ箱
1月9日	加藤哲史	3	寒川神社絵はがきほか

## ○寄託資料

日付	寄託者（敬称略）	点数	主な内容
6月10日	三枝北斗	710	岡田村村政文書ほか
6月10日	三枝北斗	9	東岡田庚申講文書

**2) 資料の公開承諾**

所蔵者から写真版による公開許諾をいただき閲覧可能になった文書群。

平成30年度は該当なし。

**3) 行政刊行物等の収集**

年度	購入	寄贈・収集	合計
平成29年度以前累計	2,188	36,316	38,504
平成30年度末	0	767	767
合計	2,188	37,083	39,271

2月6日、神奈川県立図書館資料交換会に参加し、71冊を収集した。

## (4) 資料の利用

### 1) 職員の利用状況

寒川文書館は寒川村以来の公文書を保管している。その他の地域資料とともに保存し利用に供している。その一義的な目的は、町有情報を文書館で一元管理することにより、町職員の業務の効率化をはかることにある。

平成18年度	閲覧件数	閲覧点数	レファレンス件数
平成30年度	77	112	55
平成19年度	2	4	57
平成20年度	51	89	74
平成21年度	37	60	60
平成22年度	32	230	79
平成23年度	42	82	72
平成24年度	76	153	79
平成25年度	54	118	69
平成26年度	86	130	77
平成27年度	74	160	91
平成28年度	106	146	84
平成29年度	66	99	80
	69	90	101
累 計	756	1,444	978

### 2) 開館日数および入館者

休館日は祝日を除く月曜、および年末年始である。

開館時間は、図書館と同様、平日は9時～19時、土日祝日は9時～17時であったが、予算の都合で平成30年7月からいずれも9時～17時に変更となった。

入館者は、入口に設置したBDSゲートを通過した人数である。資料の閲覧者のほか、展示の来館者、パソコン端末の利用者等の数を含んでいる。

	開館日数	入館者数	一日平均
平成30年4月	26	1,334人	51人
5月	27	1,105人	41人
6月	21	1,153人	54人
7月	27	1,311人	49人
8月	27	1,382人	51人
9月	28	1,112人	40人
10月	26	1,102人	42人
11月	26	1,196人	46人
12月	25	1,076人	43人

平成31年 1月	25	899人	35人
2月	25	911人	36人
3月	26	815人	31人
(30年度計)	309日	13,396人	43人
平成18年度	126日	11,961人	94人
平成19年度	311日	16,889人	54人
平成20年度	308日	13,588人	44人
平成21年度	307日	15,626人	50人
平成22年度	308日	12,314人	39人
平成23年度	308日	14,933人	48人
平成24年度	310日	13,659人	44人
平成25年度	311日	13,240人	42人
平成26年度	308日	11,866人	38人
平成27年度	311日	12,369人	39人
平成28年度	308日	12,460人	40人
平成29年度	308日	14,156人	46人
累 計	3,883日	176,457人	45人

## 3) 閲覧

閲覧は資料の出納をした件数・点数。  
開架書架の資料の利用は含まない。  
上記職員利用の件数・点数を含む。

	件 数	点 数
平成30年度	234	638
平成18年度	37	166
平成19年度	130	319
平成20年度	130	522
平成21年度	127	919
平成22年度	157	536
平成23年度	190	577
平成24年度	175	633
平成25年度	244	686
平成26年度	227	779
平成27年度	288	1,813
平成28年度	244	538
平成29年度	242	806
累 計	2,425	8,895

## 4) 貸出

複数冊を所蔵している行政刊行物  
に限り、5冊・2週間を限度に貸  
し出している。

	件数	点数
平成30年度	56	115
平成18年度	36	60
平成19年度	79	147
平成20年度	58	99
平成21年度	65	122
平成22年度	102	217
平成23年度	61	112
平成24年度	60	111
平成25年度	57	100
平成26年度	55	95
平成27年度	52	99
平成28年度	45	87
平成29年度	45	80
累 計	741	1,410

## 5) レファレンス

	庁内	町内	町外	学生	報道	合計
平成30年4月	9	17	12	0	1	39
5月	6	10	10	0	0	26
6月	3	9	10	2	0	24
7月	5	9	13	2	0	29
8月	6	15	15	6	1	43
9月	3	12	12	0	0	27
10月	10	9	6	2	1	28
11月	4	10	15	1	0	30
12月	4	11	6	1	0	22
平成31年1月	5	11	15	3	0	34
2月	4	6	9	0	0	19
3月	3	4	7	1	0	16
(平成30年度計)	62	123	130	18	3	337
平成18年度	57	47	86	14	6	210
平成19年度	74	93	105	25	12	309
平成20年度	60	90	111	32	1	294
平成21年度	79	99	123	30	9	340
平成22年度	72	99	97	32	6	306
平成23年度	79	91	115	33	13	331
平成24年度	69	106	95	32	11	313
平成25年度	77	123	107	32	5	344
平成26年度	91	145	133	36	4	409
平成27年度	84	160	127	27	4	402
平成28年度	80	148	162	33	2	425
平成29年度	101	124	132	34	6	397
累 計	985	1,448	1,523	378	79	4,417

\* 「行政／町内」の欄は「職員の利用状況」の表の数値を再掲

## 6) 特別利用

刊行物への掲載、展示、放映など、通常の閲覧とは違う特別な用途で所蔵資料を利用する場合、特別利用申請を義務づけている。

日付	申請者	利用目的	資料
4月18日	(大学教員)	授業で使用するため	宮山村絵図
4月19日	寒川町観光協会	ホームページに掲載するため	西寒川駅関係写真8点
5月8日	(公民館講座講師)	講座で使用するため	相模川附村々籠絵図面
5月7日	藤沢市教育委員会	イベントで使用するため	大山道を歩く(映像データ)
7月6日	湘友企画	写真集編集のため	寒川駅前商店ほか1点

11月24日	いき出版	写真集広告用チラシに掲載	
2月5日	一之宮東町稲荷講	稲荷講で使用するため	一之宮東町稲荷講掛軸

## 7) 視察の受入れ

日付	団体名	人数
4月13日	湘南地区監査委員連合会	16名
7月10日	湘南選挙管理委員会連合会視察	23名
12月5日	千葉県史料保存活用連絡協議会	20名
1月10日	南房総市	1名
-----		
	4団体	60名

## (5) 資料の保存

### 1) 燻蒸

実施時期	平成30年6月11日～15日（特別整理期間を利用）
実施場所	文書館 文書資料室内
実施方法	ビニール天幕64m <sup>3</sup> の中に資料を入れ、燻蒸剤を投入。 文化財虫害研究所による効果判定書が提出された。
燻蒸剤	アルプ(酸化プロピレン・アルゴン混合ガス)
対象資料	公文書・古文書等約350箱
施工業者	関東港業(株)

\*年度当初は事業が十分に実施できるだけの十分な予算配当がなかったが、文書館運営審議会からの要望書の後押しもあり、不足分を予備費から流用することで、例年どおり実施することができた。

### 2) 蔵書点検

実施期間	平成30年5月30日・31日・6月11日～15日
対象	図書館システムに登録済みの行政刊行物等 約38,000冊

### 3) その他

- ・収蔵庫入り口に埃吸着用の粘着マットを設置
- ・平成31年2月からデータロガーを導入し、収蔵庫内の温湿度の記録を始めた

## (6) 資料の普及

### 1) 町史講座

○茅ヶ崎と寒川の明治維新

開催日	平成30年8月5日
会場	シンコースポーツ寒川アリーナ（寒川総合体育館）
講師	大口勇次郎氏（お茶の水女子大学名誉教授、町史編集委員）
参加者	37名



\*茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業として開催

○寒川町史を読み直すー横浜国大の授業からー

開催日 平成30年10月6日  
会場 寒川総合図書館  
講師 多和田雅保氏（横浜国立大学）  
参加者 26名

2) 講座

○古文書講座

開催日 平成30年5月26日、6月23日、8月25日、9月22日、10月27日、  
11月24日（全6回）  
会場 寒川総合図書館  
講師 文書館職員（高木・平尾）  
内容 テーマ「幕末維新期の史料を読む」  
石高制と村高／幕末の諸事件／  
明治元年の村明細帳／明治政府の法令／  
寒川神社の神仏分離／寒川の地租改正  
参加者 33名（延べ137名）

○資料保存ワークショップ

開催日 ①平成30年10月14日、②平成30年12月9日  
会場 ①シンコースポーツ寒川アリーナ（総合体育館）多目的室  
②寒川総合図書館3階 会議室  
講師 ①平田茉莉子氏・中村慧氏・多和田雅保氏・窪田涼子氏（神奈川地域  
資料保全ネットワーク）、文書館職員（高木）  
②多和田雅保氏  
内容 ①襖の下張りの剥離作業等、②1回目の成果報告（下張り文書の読解）  
参加者 14名（延べ24名）  
共催 神奈川地域資料保全ネットワーク

○デジタルアーカイブ公開記念講演会

開催日 平成30年12月2日  
会場 寒川総合図書館3階 会議室  
講師 内海孝氏（東京外国語大学名誉教授・寒川町史編集委員）  
小野隆弘氏（たるみ燐寸博物館＜神戸市＞）  
内容 昭和の広告マッチラベル集める楽しみ・学ぶ喜びー  
参加者 23名  
協力 公益財団法人図書館振興財団

○文書館活用講座 今年度は休講とした

### 3) 展示

#### 企画展

第27回企画展「寒川の明治維新」		
7月21日～8月31日(36日間)	文書館展示コーナー	茅ヶ崎市寒川町広域連携事業として開催 展示説明会(8月5日実施)11名参加
第28回企画展「平成を振り返る」		
1月5日～3月30日(76日間)	図書館展示室	寒川総合図書館と合同展示

#### ミニ展示

第24回ミニ展示「資料を守り、後世に伝える－寒川文書館の取り組み－」		
10月16日～12月28日(65日間)	文書館展示コーナー	博物館実習の成果
第25回ミニ展示「亥年のできごと－公文書が語る現代史⑨－」		
1月5日～3月30日(76日間)	文書館展示コーナー	

#### 図書館ミニ展示

図書館ミニ展示(10)「明治維新150年」		
7月21日～8月31日(36日間)	図書展示コーナー	企画展「寒川の明治維新」の関連企画 展示点数88冊

### 4) 図書館連携事業

○図書館・文書館体験ツアー

期 日 平成30年7月21日・8月18日・12月23日

内 容 小中学生を対象に図書館・文書館の作業体験や、一般利用者の入れない場所を見学する企画。文書館書庫では各学校の成り立ちに関する公文書等を紹介した。

参加者 3回合計15名

### 5) 学校連携

施設見学	
6月7・8日	旭小学校2年(4クラス)
6月22日	寒川小学校2年(3クラス)
7月26日	寒川高校(7名)
10月26日	小谷小学校2年(3クラス)
11月7日	一之宮小学校2年(2クラス)
11月14日	南小学校2年(3クラス)
職業体験学習	
11月8日	北陽中学校2年(5名)

11月28日	寒川東中学校2年(1名)
12月4日	旭が丘中学校2年(4名)
2月8日	茅ヶ崎養護学校(3名)
高校インターンシップ	
8月2・3日	寒川高校(3名)
教員研修	
8月8日	茅ヶ崎市立西浜中学校(1名)
大学視察研修	
6月24日	中央大学(19名)
12月16日	東京学芸大学(33名)
2月8日	早稲田大学(3名)
博物館実習	
8月22～25・28・29日	東京学芸大学(1名)
10月3～6・13・14日(計12日間)	
アーカイブズ実習(学習院大学大学院)	
該当の学生がいなかったため実施しなかった	

## 6) ボランティア(展示、写真・新聞整理)

### ○展示替え作業

平成30年7月18日(1名)、7月20日(7名)

### ○写真整理作業・資料整理作業

日 程 毎週火・木曜の午後のうち、都合の良い日に実施

人 数 実員約10人

内 容 ・タウンニュースの記事見出しのデータベース化

・広報の記事見出しのデータベース化

・各課移管写真のデータベース化とスキャニング

・ポジフィルムの整理とスキャニング

・中性紙封筒への入れ替え作業

など

### ボランティアの参加状況

年	月	図書	写真	資料	展示	編集	合計
平成30年	4月	0	9	12	0	0	21
	5月	0	10	5	0	0	15
	6月	0	5	12	0	0	17
	7月	0	10	21	8	0	28
	8月	0	7	11	0	0	18
	9月	0	8	10	0	0	18
	10月	0	6	15	0	0	21

平成31年	11月	0	3	13	0	0	16
	12月	0	5	9	0	0	14
	1月	0	4	11	0	0	15
	2月	0	6	12	0	0	18
	3月	0	7	10	0	0	17
(30年度計)		0	80	141	8	0	229
(18年度計)		98	0	0	0	0	98
(19年度計)		0	112	0	70	0	182
(20年度計)		0	270	0	48	0	318
(21年度計)		0	76	468	38	16	598
(22年度計)		5	118	262	26	0	411
(23年度計)		0	96	336	16	0	448
(24年度計)		0	241	217	16	0	474
(25年度計)		0	160	61	4	0	225
(26年度計)		0	281	35	5	0	321
(27年度計)		0	279	55	28	0	362
(28年度計)		0	266	12	19	0	297
(29年度計)		0	176	36	12	0	224
総計		103	2,155	1,623	290	16	4,187

## 7) 古文書愛読会

○古文書講座の受講生の有志が平成25年8月に結成。会場の確保など活動の便宜をはかっている。

活動日：毎月第3水曜日

会員数：13名

講読史料：入沢章家文書「(伊右衛門忠雄病中記)」(平成29年10月より)

## 8) SNSによる情報発信

○ツイッターアカウント (@samu\_archives) を取得

\*原則、開館日には、1件ずつ情報を発信している。

## 9) マッチラベルコレクションのデジタル化・公開事業

○文書館所蔵の三枝惣治氏マッチラベルコレクション約6,500点をデジタル化し、インターネットで検索・閲覧ができるようにする。

期 間 平成29年度～平成31年度

※公益財団法人図書館振興財団平成29年度提案型助成事業

平成30年12月1日より神奈川県内の店舗2,370点のマッチラベルの公開開始。

## (7) 刊行物の作成

### 1) 第124回町史編集委員会の開催

開催日	平成30年12月27日
内容	平成29年度事業結果報告、平成30年度事業中間報告、平成30年度刊行物

### 2) 刊行物の発行

寒川文書館年報 第11号(庁内印刷)

9月30日刊	A4版	71p	館の概要／平成29年度事業／平成30年度事業計画／参考資料
--------	-----	-----	-------------------------------

寒川文書館だより 第24号(自家印刷)

10月31日刊	A4版	8p	広報さむかわによる情報発信／企画展「寒川の明治維新」ほか
---------	-----	----	------------------------------

寒川文書館だより 第25号(自家印刷)

3月31日刊	A4版	8p	デジタルアーカイブ／企画展「平成をふりかえる」ほか
--------	-----	----	---------------------------

寒川町史研究 第30号 予定

3月31日刊	A5版	未定	特集「デジタルアーカイブ公開記念」ほか
--------	-----	----	---------------------

絵はがき集 第10集(自家印刷)

5月刊	ハガキ	8枚組	さよなら西寒川駅・寒川支線
-----	-----	-----	---------------

### 3) 刊行物の販売

#### ○全国歴史資料保存利用機関連絡協議会第43回全国（沖縄）大会

開催日	平成30年11月8日・9日
会場	沖縄県市町村自治会館
販売資料	町史研究29

## (8) 職員研修

内容	日程	会場
国立公文書館		
平成30年度アーカイブズ研修Ⅱ [平尾]		
公文書館等における普及啓発及び歴史公文書等の利用促進等について	1月15日～17日	国立公文書館
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会		
第43回全国(沖縄)大会 [高木・平尾]		
アーカイブズ再考ーその価値と活用ー	11月8・9日	沖縄県市町村自治会館
関東部会第298回定例研究会 [平尾]		
全史料協全国(沖縄大会)参加報告会	12月20日	川崎市公文書館
関東部会第299回定例研究会 [平尾] 予定		
アーカイブズのファシリティマネジメンター老朽化する館と持続可能なアーカイブズ 戸田市アーカイブズ・センター	3月1日	戸田市新曽福祉センター

の場合ー		
------	--	--

## 神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会

平成30年度第1回講演会 [高木]		
「公文書管理と情報公開」三木由希子氏(情報公開クリアリングハウス)	5月17日	神奈川県立公文書館
平成30年度第1回研究会 *全史料協関東部会と共催企画 [平尾]		
「学校資料の保存活用」富田健司氏(芳賀町)、「学校資料を残すにはー「神奈川県教育史(戦後編)」の資料調査からー」中根賢氏(神奈川県立総合教育センター)	7月27日	神奈川県立公文書館
平成30年度第2回研究会 [高木]		
「自治体におけるアーキビストの役割」伊藤一晴氏(国立公文書館)	9月26日	神奈川県立公文書館
平成30年度第2回講演会 [平尾]		
「アーカイブズを知る神奈川の地名」齋藤達也氏(神奈川県立公文書館)	10月23日	神奈川県立公文書館
平成30年度第2回研修会 [平尾]		
資料修復についての講義・ワークショップ	11月30日	日本図書館協会

## その他

平成30年度法制執務(入門)研修 [平尾]		
中村直季氏(ぎょうせい)	5月16日	市町村研修センター
整理力向上研修 [平尾]		
手島伸夫氏(日本経営協会)	12月4日	市町村研修センター
タイムマネジメント研修 [平尾]		
瀬尾敏彦氏(インソース)	2月5日	市町村研修センター

## (9) 対外的活動

## 1) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

広報・広聴委員会副委員長として、次の会合に参加した。 [高木]

## ○第1回広報・広聴委員会

開催日 平成29年5月2日

会場 富山県職員研修所(富山市)

## ○第2回広報・広聴委員会

開催日 平成30年8月7日

会場 富山県赤坂会館(東京都港区)

## ○第3回広報・広聴委員会

開催日 平成30年10月24日

会場 富山県赤坂会館

役員会にオブザーバーとして、次の会合に参加した。[高木・平尾]

○第1回役員会

開催日 平成30年6月14日  
会場 岡山県立記録資料館

○第2回役員会

開催日 平成31年2月15日  
会場 岡山県立記録資料館

**2) 神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会**

監事として監査事務を行った。[高木]

実施日 平成30年5月10日  
会場 神奈川県立公文書館

**3) 茅ヶ崎市・寒川町広域連携**

平成25年度に発足した広域連携の枠の中で、茅ヶ崎市社会教育課および文化資料館と協力し合いながら、展示、講演会等の普及事業を展開した。

**4) 講座講師等の派遣**

講座名	テーマ	担当	開催日	会場	参加
寒川町新採用職員研修	寒川の歴史と文書館の役割	高木 平尾	4月5日	寒川総合図書館	15名
全国公文書館館長会議	寒川文書館の職員体制と研修	高木	6月8日	ベルサール飯田橋 ファースト	126名
湘南地区選挙管理委員会 連合会委員研修会	公文書に見る選挙制度	高木	7月10日	寒川総合図書館	23名
第4回耕餘祭（小笠原 東陽を地域の皆さんが 顕彰する催し）	耕餘塾に学んだ寒川の人びと	高木	9月16日	藤沢市明治市民セ ンター	47名

**5) 依頼原稿の執筆**

○湘南広域ニュース（藤沢市・茅ヶ崎市広報） [高木]

内 容 8月 寒川町の歌

○タウンニュース寒川版「さむかわ今昔」 [高木]

内 容 4月20日号 50年前の信号機  
5月25日号 寒川支線と一之宮緑道  
6月22日号 中原道  
7月20日号 寒川駅前とサマーフェスティバル

8月24日号 総合体育館20周年  
10月5日号 寒川小学校へ向かう坂  
10月19日号 中倉見交差点  
11月16日号 湘南銀河大橋  
12月14日号 倉見神社本殿  
1月11日号 美化センター  
2月8日号 丸太の広場  
3月8日号 倉見郵便局

○議会だより [高木]

内 容 8月1日 表紙解説「バーベキュー」  
11月1日 表紙解説「大山雪後」  
\*田口雅巳「寒川三十六景」より

○広報さむかわ [高木]

内 容 8月1日 特集「絵はがきにみる地域の姿」

○広報さむかわ「寒川を築いた人たち」 [平尾]

内 容 5月1日 入澤知周  
6月1日 北野與一  
7月1日 井上有一  
8月1日 清水善茂  
9月1日 皆川寛  
10月1日 加藤丘之助  
11月1日 広田孝基  
12月1日 甲賀春吉  
1月1日 木島鄰  
2月1日 藤本菊子  
3月1日 高橋勘之丞

○『地方史研究』393（地方史研究協議会編、2018年6月） [平尾]

内 容 全史料協全国(神奈川県相模原市)大会参加記

○『記録と史料』29（全史料協編、2019年3月） [高木]

内 容 「特集・平成30年7月豪雨における資料保全活動」巻頭言

○『写真アルバム 平塚・茅ヶ崎の昭和』（いき出版刊） [高木]

内 容 写真43枚のキャプションを執筆





### **3 令和元年度の事業計画**

## はじめに

寒川町は昭和61年（1986）、町史編さん事業を開始した。

その結果として、町当局は当初の目標であった文書館計画を実現した。平成18年（2006）11月に開館した寒川文書館である。かけがえのない町の財産である「史資料」を保存して活用する機関である。

寒川文書館は、令和元年度中に満13年を迎える。町政を支える公文書をはじめ、地域の古文書、映像など寒川に関する記録資料について収集し、整理と保存処置を第一義として遂行し、利用者にも利用を供するという、公文書館としての役割を果たしてきた。公文書管理法の施行、町の財政状況や行政改革の展開など、町立文書館をとりまく状況は刻々と変化している。だが、文書館の本来の業務を低下させることなく、推進するものとする。

寒川文書館では、令和2年の寒川町制施行80周年記念事業、令和3年度から始まる寒川町新総合計画策定に備え、文書館所蔵の公文書をはじめ地域資料が今後の寒川まちづくり策定に役立つことを訴えつつ、長期的な視野に立って業務に邁進していく。

## （1）館運営

### 1）開館日・時間

利用者に資料の提供サービス等を行うため、「寒川文書館管理運営規則」に基づき、下記のとおり運営する。

火～日・祝日ともに、午前9時～午後5時

（特別休館日：5日程度、年末年始の休館：6日間）

### 2）運営審議会の開催

文書館事業計画の審議などを通じて、適切な館運営のための助言をいただくため、文書館運営審議会を年2回開催する。

### 3）指定管理者との連携

平成29年度から導入した指定管理者制度により、建物管理は指定管理者が行うことになった。資料収集、普及事業、レファレンスの相互協力など、従来総合図書館と協力しながら進めてきた日常業務については、そのまま継続して実施している。今後両者の連携を密にして利用者サービスに努めるものとする。

### 4）人材の育成

資料保存活用等に関する職員の資質向上のため、国立公文書館、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）、神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会（神史協）などの研修の情報を集め、積極的に参加するよう努める。特に令和元・2年度は寒川文書館が全史料協の会長事務局を務めるので、その経験も資質向上につなげる。

## （2）公文書の収集・整理

### 1）公文書に関する例規の検討

平成23年4月に公文書管理法が施行された。公文書の適正な管理に関して施策の策定と実施についての努力が義務づけられている。この法の趣旨に則り、他機関の先行事例を参考にしつつ、公文書の取扱、評価選別や公開の制度化などについて、実施スケジュールを定めて検討を進める。

## 2) 公文書の引き継ぎ

- ・永年保存の公文書は従来、作成後11年目に本庁から移管されてきたが、平成27年から3年経過したものを移管するようになった。この運用を成文化すべく、現用文書の担当者と協議する必要がある。
- ・廃棄対象になる有期限文書を評価選別し、保存するものは文書館の非現用文書の収蔵棚に搬入する。
- ・選別した非現用文書のフォルダ名をデータベース登録する。件名目録の入力についても検討する。
- ・町の出資法人の文書の取扱いについて、成文化すべく関係部署と協議する。

## (3) 地域資料の収集・整理

### 1) 資料の寄贈・寄託

町史編さん事業等で資料を提供していただいた所蔵者と連絡をとる。また、新規での資料の提供を呼びかけるなど、資料の寄贈または寄託を積極的に受け入れる。

### 2) 閲覧許可

寄贈・寄託をいただけない方や遠隔地の資料所蔵者については、町史編さん事業の過程で撮った写真版での閲覧公開について許可を得るよう努め、閲覧ができる資料を増やす。

### 3) 写真資料の整理

町各課から移管を受けた写真プリントやネガフィルム、ポジフィルムなどの目録化、デジタル化を進める。個人蔵の写真についても同様に作業を進め、所蔵者の了解を得たものはすみやかに公開を推進する。

### 4) 行政刊行物の収集・整理

町および神奈川県で作成した行政刊行物を保存・活用するため、各課からの移管を義務づける規程を設けるよう検討する。また、保存年限切れ資料からの選別、県資料交換会の参加など、積極的に収集に努める。収集後はすみやかに図書館の検索システムに登録し、配架する。

### 5) 映像資料・音声資料

町各課から移管を受けた VHS テープやカセットテープなどをデジタル化し、館内端末での利用を促進する。

## **(4) 資料の保存**

### **1) 燻蒸**

町の貴重な財産である公文書等を維持し、永く未来に遺すため、専門業者に委託し燻蒸を実施する。

### **2) 公文書・古文書の保護**

アーカイバル容器を購入し資料を移し替える。歴史的公文書の金具除去作業については、技術面や資金面の調査研究を行う。

### **3) 検索システムの充実**

平成30年10月から図書館の検索システムの変更により、古文書、写真、新聞などの資料も検索できるようになった。今後は、利用者に使いやすく、かつデータ更新をしやすい方法を検討すべく、指定管理者およびシステム業者と協議を行う。

### **4) 防湿剤・防虫剤**

マイクロフィルムキャビネットの防湿剤を取り替えたり、新規収蔵の古文書等については保存箱に防虫剤を入れたりするなどして、資料の保存に努める。

### **5) 保存に関する調査・研究**

保存環境、虫害、保存容器など、より良い資料保存ができるよう、最新の情報を入手し研究に心がける。

### **6) 資料の撮影**

新しく収蔵する資料についてはデジタルカメラで撮影して、活用のためのデータを作成する。

### **7) マイクロフィルムの保護**

平成25年度に導入したマイクロフィルムのリワインダーを活用して、フィルムの巻き替え作業を行うことにより、フィルムの保護をはかる。

## **(5) 資料の普及**

### **1) レファレンス**

利用者の調べものの相談を随時受け付ける。相談内容や結果をスタッフが共有できるよう、相談記録のデータベース化をしたり、レファレンスに便利な検索ツールを作成したりする。国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」も積極的に活用する。

### **2) 講演会等**

歴史のおもしろさや、資料の大切さを町民に知っていただき、資料閲覧につなげるため、講演会やワークショップなどの普及事業を開催する。その際、茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業の予算を活用するほか、他課、他団体とのタイアップなど、実施方法を検討する。

### 3) 講座

史料に直接接することで、歴史や資料保存を身近に感じる機会を持ってもらうため、次の講座を開講する。

- ・古文書講座

江戸時代の史料を読む勉強会を実施する（月に1回、5～10月、計6回）

### 4) 展示

- ・企画展

第29回・30回の2回程度の開催とする。うち1回は茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業として位置づけ、茅ヶ崎市文化資料館と協力し合いながら実施する。内容は『広報さむかわ』が創刊70周年を迎えることから、広報をテーマに、広報戦略課にも協力を仰ぎつつ実施する。もう1回は、タイムリーな話題を提供すべく、企画立案に努める。

- ・ミニ展示

パネル2～3枚の規模で、エレベーターホール等にて実施する。文書館の業務 PR や、タイムリーな話題をテーマに、随時実施する。

（企画の例）

- ・アーカイブズ実習の課題発表
- ・子年のできごと

- ・図書館ミニ展示

図書館1階の図書展示のスペースを借り、文書館展示に関連する図書を並べて、文書館展示への誘導できるよう、随時企画する。

### 5) 図書館連携事業

懐かし映像上映会、図書館文書館体験ツアーなど、図書館と共催による普及事業を展開する。

### 6) 学校連携

- ・職業体験学習・実習等

小学校の施設見学、中学校の職業体験学習、高等学校のインターンシップ、大学の施設見学や実習などの要請があれば、随時受け入れる。

- ・調べ学習等への対応

学校が、寒川地域に関する調べ学習を児童・生徒に課す際は、文書館と事前に協議してもらうなど、学校との連携を積極的に行うよう働きかける。

- ・教員研修

新任職員研修などに協力するかたちで、文書館を広く知っていただけるようアピールする。

## 7) ボランティアとサークル

自治基本条例にある「協働」を具現化し、「みんなが足を運びたくなる文書館」をめざすため、ボランティアに展示、写真整理、新聞整理、マイクロフィルムの保護などの作業の一部をお願いする。

また、平成25年8月に発足した寒川古文書愛読会の活動を支援し、その成果の発表の場を提供できるよう検討する。

## 8) 講座講師等の派遣

講演会などの講師派遣依頼があれば、極力受諾し、寒川文書館や資料の普及に努める。

## 9) 原稿の執筆

「広報さむかわ」に「寒川を築いた人びと」というコラムを執筆する。またタウンニュースには、昔と今の風景を比べるコラム「さむかわ今昔」を月に1回寄稿する。その他、依頼があれば随時執筆する。

## 10) SNSとデジタルアーカイブ

- ・平成29年8月からツイッターの公式アカウントを取得し、ほぼ毎日、資料や日常業務などについて情報発信をしている。今後もこれを継続する。
- ・平成29年度から図書館振興財団からの助成金を得て、「三枝惣治氏マツチラベルコレクション」のデジタルアーカイブ化を進めている。令和元年度は計画の最終年にあたるため、仕上げに努める。

## (6) 刊行物の作成

### 1) 町史編集委員会

町史刊行物の企画・編集を行うため、会議を開催する。

### 2) 刊行物の発行

次の刊行物を編集・発行する。印刷方法については、印刷業者に依頼するほか、PDF版、庁内印刷などさまざまな方法を検討する。

- ・『寒川町史研究』第31号  
発行日 令和2年3月31日  
内容 (未定)
- ・『寒川文書館だより』第26号(自家製版)  
発行日 令和元年9月30日  
内容 資料紹介、活動報告、連載記事
- ・『寒川文書館だより』第27号(自家製版)

- |     |                |
|-----|----------------|
| 発行日 | 令和2年3月31日      |
| 内容  | 資料紹介、活動報告、連載記事 |
- ・『寒川文書館年報』12 平成30年度
- |     |               |
|-----|---------------|
| 発行日 | 令和元年9月30日     |
| 内容  | 平成30年度の事業報告など |
- ・絵はがき集 11（自家製版）
- |     |           |
|-----|-----------|
| 発行日 | 令和元年10月1日 |
| 内容  | 岡田の風景     |

### 3) 刊行物の計画

- ・報告書23として、古文書愛読会による史料紹介を掲載するよう準備を進める。
- ・町制施行80周年記念誌（令和2年11月刊行）の構想を固め、準備に取りかかる。
- ・令和3年度以降の刊行計画を新たな総合計画に位置づける。

### (7) 職員研修

国立公文書館、全史料協、神史協などで開催される研修会、研究会等に積極的に参加し、研鑽を積むこととする。

### (8) 広域的な活動

#### 1) 協議会への参加

全史料協や神史協に参加し、情報収集や研鑽に努める。特に前者については、会長事務局を務めることから、役員会・総会・大会の運営を担うとともに、他のアーカイブズ関連団体との情報交換にも努める。

#### 2) 茅ヶ崎市・寒川町広域連携

平成25年度に発足した広域連携の枠の中で、茅ヶ崎市社会教育課および文化資料館と協力し合いながら、展示、講演会等の普及事業を展開する。





## 4 參考資料

## (1) 閲覧できる資料

館蔵・寄託資料および、写真版での閲覧公開について所蔵者から許諾を受けた資料群は次のとおりである。(網掛けは平成30年度中に新規公開。資料番号を囲ってあるものは館蔵資料、下線のあるものは寄託資料。令和元年7月現在)

## &lt;田端&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
<u>01-01</u>	木内哲夫家文書	201	近世文書は、朝鮮通信使・琉球来聘使の人馬動員、村役人任命状、用水争論などのものがある。明治以降では、砂利採取、畜産組合など田端の産業の特色を示すものが見受けられる。
01-02	村田一美(保)家文書	124	田端村の名主文書。田端村は本間、高木両氏の相給知行であったが、村田家は本間の名主を務めていた。村役人任免や御用金に関するものなどが中心である。
01-03	楠谷稔(茂正)家文書	179	近世文書は村役人の任命に関するもの。明治期は地券、軍隊の辞令などがある。明治末から大正期にかけての寒川村議会の議事録等は、役場に現存する公文書を補完する貴重なもの。
01-04	大川勝徳(明)家文書	58	古文書と典籍がほぼ半々。古文書は、貞享元年(1684)の田畑水帳、地券、学校の賞状など。
01-06	貴船大神文書	173	神社の各年度の会計簿、祭礼時の収支などの簿冊が中心。
<u>01-07</u>	石黒行雄(直治)家文書	46	幕末から明治初期の状物を中心に内容は多岐にわたっており、地頭所の勝手賄や借金に関するもの、奉公人請状、倉見村役人の任免、質地証文などがある。
<u>01-09</u>	小林正夫家文書	532	昭和35年から39年まで町長を務めた小林武雄氏の資料が中心。高度成長期の工業用地造成や町政運営に関わるものが多く、町の公文書を補完する貴重な資料群といえる。
<u>01-10</u>	田端自治会文書	929	自治会文書としては町内で最大級のもの。近世文書は、用水争論に関するものが半数を占める。明治以降は、地租改正、貴船神社の祭礼、道路や堤防の普請に関するものから、青年会の活動記録、日本住宅公団による工業団地の造成関係など多岐にわたる。
01-15	斎藤吉照家文書	2	貴船神社神職斎藤土継の住居についての証文と、学校増築・道路工事・堤防工事などをめぐる打合せ書の2点。
<u>01-17</u>	石黒久雄家文書	87	石黒秀雄氏の遺した史料が中心。昭和22年から町議会議員、昭和38年から町収入役を務め、その間の議案書や通知書の綴りなどがある。
01-23	菊地勝家文書	94	大正8年から昭和15年までの8冊の日記帳は、毎日の天候と農作業の内容を書き留めたもので、農家の労働の様子を知るうえで貴重。戦後の史料としては、農業委員会や一之宮分校後援会のものがある。
01-25	生往寺文書	7	浄土宗・生往寺に伝来した文書。昭和期に記された生往寺や車地藏の沿革史のほか、徳川綱吉の嫡子徳松の御手遊道具の由来書等がある。

01-29	医王院文書	2	真言宗・医王院に伝来する文書2点。一つは神仏分離の際、貴船社の神事を医王院が手放す時のもの。もう1点は昭和25年に編まれた医王院の縁起である。
01-35	高橋光雄家文書	1	二宮尊徳についての刊本1冊。
01-37	石黒行雄家文書	11	昭和30年前後の寒川町民体育大会プログラムや寒中祭プログラム、第10回国体の応援小旗、第14回国体記念乗車券など。
01-38	村田仁家文書	1	関東大震災時の大阪朝日新聞。

### <一之宮>

番号	文書群名	点数	内 容
02-01	入沢輝中央家文書	1	文久年間とみられる、徒党を組む困窮民を取り締る幕末の触書1点。
02-04	内田トミ子(虎雄)家文書	14	元禄検地帳、明治期香典帳など。
02-05	入沢章家文書	6099	近世文書は、本宅・向店・江戸における商業活動に関する経営史料、改革組合村関係史料など。典籍は、文学関係、漢学書、算術書、明治初年の啓蒙思想に関するもの等々。
02-07	鈴木猪太郎家文書	5	明治6年に神奈川県から出された布達類をまとめた留帳、大正5年に小学校を統合する際の陳情書など。
02-08	一之宮八幡大神文書	929	区有文書的なものと神社関係のものに大別できる。前者は戸長役場文書、砂利採取、区費、共同労働に関するもの等。秣刈取出入に関する近世文書も含まれる。後者は大正初期～昭和40年代の祭礼費用勘定帳が中心。
02-12	高橋春吉家文書	3	明治期の学校関係の史料。旭学校への寄付金に対する褒状と、同校の学年・学期の修了証書2点がある。
02-13	吉田博國家文書	10	学校手帳、寒川村青年団の機関誌『寒川の泉』第16号がある。
02-16	村田英郎家文書	19	当家の村田喜助は昭和初年に郵便局長を務めた。昭和9年の局舎建設関係の史料がある。
02-21	村田八千雄(正恭)家文書	8	近世文書は宝暦7年の上借添証文1点。明治期では一之宮小学校の修業証書、高野山の勸進簿がある。
02-27	菊地由宜家文書	7	小田原城主だった大森氏の末裔で、田端生往寺の開基である菊地家の初代・下総守泰次の来歴について記したものなど。
02-29	広田孝平家文書	15	昭和5年から17年まで寒川村長・町長を務めた広田孝基の遺した文書。相模川の架橋問題、軍需工場の進出、町制施行、議会議案書など、当時の寒川の行政課題を反映したものが多い。
02-33	広田長治郎家文書 (横溝吉香氏寄贈)	107	上限は正徳5年(1715)の質地証文。他に当家の善人が会主を務めた総益講に関するもの、小作に関する帳簿、オート三輪車「くろがね」を製造していた日本内燃機の社報などがある。
02-34	高橋多賀江(シゲ)家文書	4	『寒川町史研究』第8号に掲載した聞き書き「宮山寮からみた相模海軍工廠」の話者の一人である高橋シゲさんの使った通帳や衣料切符。
02-36	台畑稻荷講文書	3	一之宮の北町の台畑地区で行われる稻荷講の諸経費を書き留めた簿

			冊。
02-59	鈴木博家文書	1	明治13年刊行の一之宮村の「一村字限切図」が1点。一之宮村の小字別に、一筆ごとの土地の形状、地目、地番がわかる地図集。
02-60	一之宮西町年番文書	31	天満宮祭礼関係、庚申講掛軸など。
02-65	村田家文書（柳下雅子氏蔵）	48	一之宮村の領主であった旗本松平氏から課せられた冥加金の証書類や、村役人任命状、苗字帯刀御免状などの近世文書。
02-75	高橋博家文書	7	昭和25年創刊の寒川中学新聞第1号～第8号（第7号欠）。
02-76	内田善計家文書	165	元禄11年の水帳のほか、土地関係証文、昭和初期の賞状など。
02-79	戎谷秀子家文書	2	「相模線寒川・西寒川間さよなら記念」切符
02-80	滝田義明家文書	1	神奈川中央交通茅ヶ崎営業所路線図

## &lt;中瀬&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
03-05	小泉聖(薫)家文書	13	寛政8年から大正10年までの史料。証書類が多いが、明治10年の村用掛の任命書もある。

## &lt;大曲・下大曲&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
04-05	大曲自治会文書	70	代々の自治会長に引き継がれてきた史料で、木箱に入っている。地租改正にともなう諸帳簿、昭和恐慌期の失業対策に関するもの、戦時中の通達文書、戦後の会計帳簿など。
04-06	竹内千鶴子家文書	106	おもに竹内八十八氏が遺した明治28年以降の教員関係の文書。退職後は膏薬の製造販売にも携わった記録もある。
04-07	高橋聰暢家文書	90	おもに高橋勘之丞氏が遺した文書。氏は実業家で村会議員も務めたかたわら、「勸農鳥」の雅号による俳句などの著作があり、その原稿も残っている。
04-10	鹿生幸男家文書	1	大曲・一之宮地区の砂利採掘に関する住民説明会資料。
04-11	井澤勝良家文書	243	慶応元年の遺跡証文を最古に、家経営に関する証文など明治期の資料が多い。
05-01	鈴木勝比古家文書 (野々下美恵子氏蔵)	10	大正末から昭和初期にかけての史料。下大曲神社の造営や祭礼の費用に関するものや、部落費の収支にかかわるものなど、村の公共のものが中心。
05-02	岩崎君子家文書	1	明治20年(1887)に作成された下大曲村の絵図が1点。

## &lt;岡田&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
06-01	三枝北斗家文書	744	三枝家は岡田村のうち旗本石川氏の知行分の組頭、名主を勤めていた。年貢、先納金、勝手賄などに関する史料が多く見られる。平成30年6月寄託。
06-02	三沢恵一家文書	3213	大福帳、小作預口帳のほか、酒や米の注文書、荷物の送り状、奉公

			人請状、質地・借金証文など、幕末～大正までの地主経営関係の史料が多い。ほかに近世史料では助郷に関するものや観護寺の過去帳、賄帳、普請帳など。戦後では青年団に関するものがある。
06-05	後藤進家文書	3	江戸期の史料1点（赤穂事件の顛末を記した書簡の写）と明治期の史料2点（相続による土地の異動、及び甘藷の盗難の被害届）。
06-07	村田武夫家文書	135	寒川町郷土研究会の初期の運営に尽力した村田幸枝氏の収集資料が中心。相模鉄道、青年団、学校教育など内容は多岐にわたっている。
06-10	東岡田庚申講文書	9	東岡田の8軒で昭和18年まで行われていた庚申講および無尽講の、当番などを書き留めた記録。
06-23	大久保隆家文書	20	農地改革や農地委員会、農業協同組合の設立など、昭和20年代の農業の改革に関するものが多い。
06-24	三枝芳一家文書	45	三枝惣治氏の収集資料。『広報さむかわ』は昭和24年の創刊号から綴られているほか、農協関係、農作業日誌、郷土史関係など多岐にわたる。
06-58	木村長茂家文書	29	菅谷神社神輿関係、岡田村の田畑其外反別取調野帳、土地改良関係など、昭和期の資料が中心。
06-60	斎藤維男家文書	1	江戸期の百人一首1組。
06-62	木場陽子家文書	1	相模線開業80周年記念イオカード。
06-63	大久保邦夫家文書	9	寒川町関係テレフォンカード。

## &lt;大蔵&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
07-01	菊地彰良(基泰)家文書	1688	大蔵村の名主、菊地家の文書群。江戸期史料は42点。明治5～12年頃までは布達類、明治13年頃からは小学校関係記事、明治20年代からは私的文書が多い。
07-03	石井基久家文書	401	幕末から明治にかけては土地関係の資料が多い。大正以降は当家人々が受けた賞状類が多くあり、また第2次大戦中は横須賀からの学童疎開や食糧配給に関するものなどが散見される。
07-04	石井正雄家文書	2	相模鉄道倉見一厚木間が開通した際の記念乗車券と、天保期の典籍。
07-06	柴田朝光家文書	2	豚霊碑建立記念の冊子と高座豚関係新聞記事の切り抜き。昭和6年にイギリスから輸入され、高座豚の基礎となった種牡豚ペンドレーバグルボーイ2世号は当家で飼育された。
07-07	大蔵自治会文書	861	第2次大戦下の町内会の役割について知りうる史料のほか、連合軍関係や農地改革など、役場からの通知文書が多数残されている。
07-11	藤井角之助家文書	44	幕末から昭和10年代にかけての当にかかわる史料。祝儀・不祝儀帳、結納の目録、卒業証書、農産物品評会の賞状などがある。
07-12	大蔵生産組合文書	211	用水費に関する昭和初期の文書が中心だが、戦後期の穀物の供出や出荷奨励金に関する文書、高度成長期の米の増産に伴うヘリコプターでの農薬散布関連の文書などもみられる。
07-13	栗田登家文書	25	大蔵で盛んであった養豚関係のものが中心。

07-14	藤井彰家文書	1	昭和40年の寒川町家屋名入地図1点。
-------	--------	---	--------------------

## &lt;小谷&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
08-01	福泉寺文書	496	大般若経600巻のうち福泉寺に現存するのは496巻で、供養者として寒川町内および周辺地域の人名が記されている。
08-05	小谷自治会文書	365	地租改正時の「土地縦横帳」と切図が最も古い。ほかには部落費、用水費、消防費などの帳簿や、灯火管制、衣料切符、防空壕など戦時中の生活にかかわる通知文書綴など。
08-06	三沢一雄家文書	3	倉見の五島家の経営に関する簿冊のほか、負傷の出征兵士への見舞状、行政からの通知・依頼文書など。
08-07	大久保俊明(政雄)家文書	3	3点はいずれも絵図である。明治6年(1873)の絵図は岡田、大蔵、小谷3か村の田畑、山林などの土地利用が数色に塗り分けられ、家並みや寺社の位置もわかる。
08-08	杉崎清(正雄)家文書	154	昭和30年代から40年代にかけての自治会関係史料。正雄氏が区長(自治会長)を務めた際の文書綴で、上水道の敷設、相模線電化問題、美化運動、文化祭等々、町民の生活にかかわる事柄が詳細に窺える。
08-21	綿貫義人家文書	13	昭和20年「寒川国民学校成業貯金通帳」(寒川町農業会)ほか、戦時中の感謝状・褒状など。
08-24	三沢誠家文書	40	寒川町青年団の機関誌「寒青新聞」、定期大会や講習会資料など、寒川町および神奈川県青年団協議会関係資料。
08-34	大久保七郎家文書	2	小谷出身の入隊者からの近況報告の葉書2点。
08-37	若菜豊家文書	2	トマトとスイカの出荷ラベル各1点。

## &lt;小動&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
09-01	脇文亮(万之亮)家文書	294	小動村の名主文書。年貢、土地、戸口、助郷など全般にわたるが、特に土地関係が内容的に豊富。検地帳は天正20年(宝永期の写)、万治元年、正徳5年の3種。地租改正関係の簿冊や絵図も多い。
09-02	阿部武家文書	220	近世では、天明2年に田沼領が幕領に支配替えになる際の田沼領への復領願や、安政6年の金比羅宮参詣時の道中日記、慶応期の村送り証文等。明治以降では、県布達、修業証書、皇国地誌の下書等。
09-04	小嶋龍巳家文書	39	万治元年の検地帳2点、宝暦11年・天明3年の名寄帳、天明8年の村明細帳など、小動村関係の地方史料が中心。また、当家とつながりを有する瀬郷村東陽院の関係史料もある。
09-05	市川澄雄(勝雄)家文書	38	天正20年の検地帳写しをはじめ、近世文書は5点。明治期の県庁からの達書や青年団関係などがある。
09-08	土屋シズエ(貞夫)家文書	26	土屋千太郎・宗吉父子の従軍関係の記録。宗吉氏の戦死通知、新聞記事、村葬の記録、弔辞、軍隊手帳など。

## ＜宮山＞

番号	文書群名	点数	内 容
10-02	寒川神社文書	1714	近世以前の文書は、神領安堵状、朱印状の写しなど約40点。近現代史料は社務日誌、庶務・会計関係書類、祭礼に関する文書など。祝詞は明治4年の大嘗祭に関するものが最も古く、時代を反映したものがみられる。
10-03	杉山六郎家文書	430	宮山村朝日組の名主文書。襖の下張りに使っていた御用留や年貢皆済目録などを詳細に目録化した。他に文化6年(1809)のムラ明細帳、蚕の共同飼育や目久尻川改修などの史料がある。
10-06	金子登喜男(保)家文書	307	真言宗西善院の会計簿、普請関係などの記録が多くある。他に、昭和初期の学校での賞状、戦病死への弔辞、戦後の農地改革に関するもの、遺族会・老人会関係など。
10-11	高橋恵一(市造)家文書	23	昭和初期以降の農業経営関係が中心である。とくに昭和7年の農事日記帳(NO.6)は、農作業の過程が克明に記されており、当時の生産暦を知るのに貴重である。
10-15	井出富士江(司乃夫)家文書	74	株や土地の売買など、明治末から昭和かけての経営関係の資料が多い。寒川村産業組合の総会開催通知(No.24)は、同組合の活動を知る上で貴重なものである。
10-18	中島康雄家文書	481	共有地の地券、会計帳簿、治水工事関係、用水管理に関するものなど自治会史料(明治9年～昭和12年)のほか、昭和40年代に中島正重氏が町議会議員を務めた際の史料がある。
10-19	中島満三家文書	10	祝儀・不祝儀帳、結納目録や、宮山にあった牧場の公告など多岐にわたっている。
10-20	横溝正明(宇一)家文書	868	土地関係、興全寺檀家総代関係、明治・大正期の卒業証書、衣料切符など戦時中の生活に関するもの、戦後の苺や花卉の生産に関するもの等々、内容はきわめて多岐にわたっている。
10-21	金子幸一家文書	31	文政5年以降の証書類が数多くある。とくに、奉公人の請状・契約書は74点あり、寒川をはじめ広い範囲から当家へ奉公に来ていたことがわかる。
10-23	石黒明(清治)家文書	375	文政5年以降の証書類が数多くある。とくに、奉公人の請状・契約書は74点あり、広範囲から当家へ奉公に来ていたことがわかる。
10-26	宮山下町神社総代文書	239	大正3年に宮山神社として合祀される以前に下町にあった八剣社の祭礼賄帳・若者組関係史料、合祀後の毎年の「諸費帳」など。
10-29	金子幸弘(宏)家文書	16	シベリア抑留中に戦病死した金子得太郎氏の関係資料。
10-33	福岡貞夫家文書	2	昭和26年の寒川小学校卒業記念文集、昭和31年『寒川の泉』No.10。
10-37	横溝義則家文書	366	幕末から昭和30年代までの家政史料が中心で、証書類や土地登記関係が多い。また年代不詳だが、宮山村十五日免組の組頭役任命状が1点ある。
10-39	福岡明允家文書	84	福岡信氏の記録や蔵書が中心。教員時代の日記や教案など。退職後は宮山区長を務めたため、自治会の記録もある。



10-46	井出哲夫(政穂)家文書	2	民生常任委員会議事録と寒川中学校PTAだよりがある。
10-62	旧五島家文書 (寒川町教委旧蔵)	2	倉見の大地主の旧蔵文書。寒川村農会に関する綴と尋常小学校修業証書の2点。綴には農会会則や通知書、農会評議員総代会議案など、大正期の農会に関する様々な資料が含まれている。
10-68	熊井家文書	1	昭和14年の「祝入営帳」1点。
10-70	小林隆家文書	2	西寒川支線廃止記念乗車券と、国民体育大会関係資料。

## &lt;倉見&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
11-02	鈴木藤雄家文書	142	明治初年から昭和期にかけて、地券・質地証文などの資料が中心となっている。
11-03	長崎至宏家文書	18	当家は幕末より醤油・味噌の醸造を手がけ、大正9年(1920)には寒川醸造株式会社を設立したが、関東大震災の被害により会社を譲渡した。この会社の設立時の株券のほか、門沢橋村との境争論や質地の判取帳などがある。
11-04	森新司家文書	33	地租改正時をはじめとする明治・大正期の簿冊や絵図が中心である。明治8年の地租改正野帳は1冊を除いて倉見村全部が揃う。
11-05	森誠家文書	26	当家は旗本高木氏の名主を務めたうちの一軒。領主の大坂在番赴任中の経費の書き留め、伊勢参詣日誌、質地出入りの裁許、村送り証文など多岐にわたっている。
11-07	倉見神社文書	8	倉見の鎮守に残された文書綴。明治以来の神社明細、明治中期の祭礼時の奉納芝居に関するもの、昭和18年(1943)の神社名変更の関係などがある。
11-09	磯川彰(重司)家文書	125	寛政2年の「添証文之事」をはじめ江戸期の証書類が数点ある。明治以降も証文・地券など土地関係の資料が中心だが、冠婚葬祭、火災見舞、出征の控帳など家に関わるものもある。
11-12	大浦春一(清一)家文書	101	冠婚葬祭・居宅普請などのほか、西国・坂東巡礼や善光寺参拝など信仰関係の資料も、御詠歌を中心に多く残されている。
11-15	大浦進(秋雄)家文書	2	昭和20年代から30年代にかけての資料がみられる。「返還金通知書」
11-15		3	は戦後の自作農創設に伴う農地売り渡し代金の精算書。当時の苺出荷ラベル2点のみ寄贈。
11-20	倉見大村不動講文書	6	倉見大村の西町と東町でそれぞれ行われていた不動講の当番の名などが記された資料。昭和63年から両町が合同で行うようになった。
11-21			
11-23	佐藤邦彦家文書	16	享和2年(1802)の「相渡申質地証文之事」をはじめとして、土地関係の証書類が明治10年代まで残る。「寒川村倉見小字大村規約書」は小字独自での規約書の制定であり、寒川では他に例をみない。
11-24	大浦節子家文書	50	大正～昭和30年代にかけて、出火見舞・祝儀・香典の控帳など、家に関わる資料が中心。「震災後居宅普請見舞受納帳」は関東大震災で倒壊した家屋の普請に関するもの。

## 4 参考資料

11-25	北村進(嘉久)家文書	103	詳細な記述の日記が数多く残されており、大正期及び昭和初期の農家の様子を知ることができる。
11-29	飯田敬一家文書	161	飯田弥市氏にかかわる資料が中心。戦前は学校の修了証書、近衛歩兵連隊在籍当時の書籍や書類など。戦後は予算書など町政に関する資料が多い。
11-32	佐藤稔家文書	71	大正期の寒川村助役佐藤峯太郎の残した記録類が中心。関東大震災当時の村の被害状況や復興の様子が詳細にわかる。
11-38	倉見大村地神講文書	3	地神講で行われる無尽講の記録が中心。地神講は戦局の悪化から昭和19年に一時休みとなり、昭和29年に復活するが、無尽講は行われなくなった。
11-59	倉見大村庚申講文書	7	庚申待で行われる無尽講の記録が6点。寛政5年から昭和16年まで連綿と書き綴られているのは貴重である。他に稲荷講の雑費を記したものが1点。
11-60	小原藤男家文書	1	明治16年「略本暦」1冊。
11-62	長田英雄家文書	1	昭和11年の相模鉄道団体旅行募集のチラシ1点。
11-63	佐藤孝家文書	1	観桜駅伝など各種スポーツ大会パンフレット等綴1点。

## &lt;町外&gt;

番号	文書群名	点数	内 容
12-01	相模鉄道(株)文書	51	相模線の前身である相模鉄道(株)の事業報告書。大正7年の第一回決算書以来、国鉄に買収される昭和19年にいたるまで各期(半年)ごとの報告書がある。
12-09	三重県神社庁文書	33	寒川町域および相模国関係の「旧師職取調関係文書」が中心。伊勢御師の実態を明治12年に調査し編纂された資料であり、江戸期の伊勢御師の信仰圏を広範に把握できる。
12-12	三重県総合博物館文書	9	江戸から明治にかけての伊勢御師の実態を示す、「旧師職取調帳」関係資料。嘉永元年～明治12年までに作成された資料が中心であり、明治初期の混乱期の実態や御師の宗教的活動を知ることができる。
12-14	伊勢市立図書館文書	30	江戸期の資料、明治12年の旧師職取調関係文書ともに後世の写しであるが、江戸期の伊勢御師の実態を檀那の譲渡等も含め把握できる点で貴重である。
12-17	三重県立図書館文書	10	「諸国抜参夢物語」、「内宮順道記」、「師職論留記」といった江戸期における伊勢参宮全般に関係する史料。
12-18	横浜国立大学附属図書館所蔵資料	297	明治21年～昭和7年の『神奈川県教育会雑誌』297冊。県内の教員の彙報、教材・教科の研究などを載せる月刊誌である。
12-19	比留川正昭家文書	10	深谷村(綾瀬市)の名主を務めた家の文書のうち、寄場組合に関するものを調査した。相模、常陸、下総、下野各国の寄場組合の構成村などの情報を書いたもので、同家が深谷村寄場名主を務めていた際、備忘録的に書き写して活用したものと思われる。
12-20	高室院文書	3997	相模国と縁の深い高野山の塔頭、高室院の文書。廃寺になった慈眼

			院・大乘院・蓮上院・発光院の文書も含んでいる。高野山信仰（弘法大師信仰）の実態を探る上で極めて貴重な史料群である。
12-21	野呂泰夫家文書	3	北秦野国民学校長を務めていた野呂敏郎が遺した資料のうち、相模海軍工廠開庁式に関するものと、寒川村立青年学校に関するもの合わせて3点。
12-25	相模原市立博物館所蔵文書	41	相模原市の旧役場文書のうち、高座郡役場からの通達の綴を中心に相原村役場文書39点と、高座郡各町村の予算などに関する麻溝村役場文書2点。
12-28	村山孝正家文書	184	大山御師の史料。江戸期の御師名は村山八太夫。町域では一之宮村、宮山村等に檀家を所有していた。御師間での檀家の売買や、檀家との緊密な関係を示す史料がある。
12-29	内海正志家文書	722	大山御師の史料。江戸期の御師名は善昌坊、内海景弓。町域では岡田村に檀家を所有していた。明治以降の神道的な再編成のもとで、先導師としての活動を記録した帳簿類も多数残されており、近代以降の町域と大山の関係を知ることができる。
12-31	清源院文書	174	厚木市三田にある曹洞宗天巽派の中心寺院。宮山・興全寺、小谷・福泉寺、一之宮・西光寺（現在は廃寺）の本寺にあたる。これら末寺の住職の任免に関わるものなど、本末関係を示す史料が多数ある。
12-32	神奈川県教育委員会所蔵文書	36	在野の考古学者・赤星直忠氏のフィールドノートのうち、大塚横穴墓群など寒川町域のものを調査した。
12-33	浄発願寺文書	106	伊勢原市日向にある天台宗寺院。中瀬・景観寺や一之宮・如是庵（現在は廃寺）の本寺にあたる。本末関係や寺院の什物などの書かれた史料を調査した。
12-34	清水登美子家文書	1538	社家（海老名市）出身の教育者・清水善茂の記録など、教育史関係資料が多数。善茂は大正12年(1923)から昭和5年(1930)まで寒川尋常高等小学校の校長を務めており、農業教育や郷土研究などに尽力した様子などが、この資料群からみることができる。
12-36	馬路町自治会文書	32	江戸時代に宮山村を知行した旗本杉浦氏の関係資料。馬路村（京都府亀岡市）は杉浦氏の丹波領のひとつで、同所の区有文書のうち、先納金や軍役など、相模・丹波双方の領民の負担を示すをマイクロフィルムに収めた。
12-39	東昌寺文書	33	高野山の僧侶が相模国において檀家廻りをする際に立ち寄った拠点寺院のひとつ。資料からは、檀家帳・檀廻帳等の作成過程、および檀廻の実態などが明らかとなる。
12-40	中津川文道家文書	9	藤沢市打戻の盛岩寺住職の個人蔵文書。明治・大正期の教科書、小笠原東陽の事跡に関するものなどがある。
12-41	高橋勉家文書	1	一之宮にあった日東タイヤ(株)相模工場構内の平面図。昭和44年(1969)当時の建物の配置を示している。同工場は相模海軍工廠跡地の一部に設立された昭和護謨(株)を引継いで昭和24年に設立された。
12-44	鈴木智恵家文書	2	戦中期の寒川町国民学校の修了証書と寒川信用販売購買利用組合の

## 4 参考資料

			貯金通帳。
12-53	勝木坊文書 正伝坊文書 大聖坊文書 橋本坊文書 宮田坊文書 養清坊文書 桜林坊文書	4 3 9 18 80 1 9	檀那場を相模国をはじめ関東周辺域に所持していた羽黒修験の資料。
12-58	大山阿夫利神社文書	8	大山御師の由緒や檀那場などについて、明治16年に権田直助がまとめた「開導記」全8冊。寒川町域の檀那場についての記載もある。
12-62	神奈川県立公文書館 文書	411	『神奈川県統計書』、『神奈川県農会報』、『神奈川県教育概要』、『教育年報』といった行政刊行物をマイクロフィルムに収めた。
12-68	山内多美子家文書	1	相模海軍工廠女子挺身隊のうち、寒川出身者による寒川隊に関する資料。敗戦を迎え退廠する際に、寒川隊や配属先の同僚らに書いてもらった寄書きが中心で、他に工廠での略歴が簡単に記されている。
12-70	小川一郎家文書	14	相模海軍工廠の入廠時に訓練を受けた際の授業ノートや実習日誌がある。また寒川町農協関係のものでは、総会資料や有線電話に関するものなどがある。
12-73	二宮毅家文書	1	湘南ウィークリー寒川版（昭和50年10月26日号）。
12-87	一宮修家文書	29	榛名山御師の江戸時代から明治期にかけての、壇廻・配札関係文書。
12-94	海老名市教育委員会 文書（高橋正浩氏旧蔵）	4	413点の資料目録は『海老名市史資料所在目録』第6集に収録されているが、この中から寒川尋常高等小学校と相模鉄道に関するもの4点を撮影させていただいた。
12-99	鈴木喜明家文書	8	花川用水絵図ほか。
13-10	滝瀬一雄家文書	2	関東取締出役・太田源助に関する資料。太田源助は天保10年(1839)以降、相模国をおもに担当しており、一之宮村寄場組合にもしばしば立ち寄っていた。
13-12	中央大学図書館文書	2	法制史研究者・隈崎渡氏の収集した古文書のうち、当町関係史料を2点撮影した。このうち1点は、天保10年に一之宮村の旗本森氏知行分の一部が幕領に分郷される際の手続きについて詳述したもの。
13-13	成安寺文書 (埼玉県滑川町)	4	天保年間に岡田で発見された真福寺鰐口の由来書ほか。
13-54	田中吉郎家文書	1	昭和19年6月、寒川へ集団疎開に来た横須賀市豊島国民学校の引率教員の日記。約440名が16か所の宿舎に分散したうち、南泉寺班30名の児童の様子が克明に記されている。
13-55	丸山清家文書	84	神奈川県農業改良普及員として永年寒川町の農業の指導に尽力してきた丸山清氏が、関係資料を1冊に綴ったもの。昭和30年代の農業の概況を示す、講習会の資料や農協の事業計画書・報告書など。
13-56	柏木昭子家文書	3	相模海軍工廠女子挺身隊明見隊の隊員だった柏木氏の、保険証や弁当券など当時の記録。

13-59	金沢コレクション文書	1	金沢甚衛氏旧蔵の「金沢コレクション」のなかから購入。「辰御年貢御割付銘々持高帳」は安永2年の小動村の年貢割付について書き上げた資料。
13-70	平川卓史氏寄贈資料	1	昭和25年刊『郷土史話さむかは』の初版本。
13-76	飯尾和義氏収集資料	10	相模線の切符
13-77	松野幸雄家文書	2	東海道新幹線絵葉書
14-24	杉浦文書	1	宮山村領主杉浦家関係文書。古書店より購入。「旗本杉浦家八千石陣立 御料地」は杉浦家代々の事跡、旗指物、御料地等について記したもの。
15-07	国立公文書館文書	22	鉄道省文書、伽藍開基記、関東筋御取締書留など。
15-15	平塚市博物館所蔵文書	80	一之宮村の江戸時代から明治時代にかけての古文書80点。平塚の郷土史家のコレクションの一部で、年貢、五人組帳、堤防の普請、地租改正関係など多岐にわたる。

合計 161件 34,072点

## (2) 条例・規則・要綱

### 1) 寒川文書館条例

平成18年3月24日 条例第2号

(趣旨)

第1条 この条例は、寒川文書館の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置、名称及び位置)

第2条 郷土の歴史的、文化的価値を有する町の公文書、地域資料、刊行物その他の記録を収集し、保存し、広く利用に供することにより、地域文化の発展に寄与するため、公文書館法(昭和62年法律第115号)第5条第2項の規定に基づき、寒川文書館(以下「文書館」という。)を寒川町宮山135番地の1に設置する。

(指定管理者による管理)

第3条 文書館の管理は、町長が指定する指定管理者(地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。

2 指定管理者は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 文書館の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2) 前号に掲げるもののほか、町長が必要と認める業務

3 指定管理者の指定の手續等については、寒川町公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例(平成17年寒川町条例第18号)の定めるところによる。

(平28条例17・追加)

(職員)

第4条 文書館に館長及び必要な職員を置く。

(平28条例17・旧第3条繰下)

(文書館運営審議会)

第5条 文書館の運営に関し、町長の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申し、又は建議するため、文書館に文書館運営審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 審議会は、委員7人以内をもつて組織する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

5 その他審議会に関し必要な事項は、規則で定める。

(平28条例17・旧第4条繰下)

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、文書館の管理等に関し必要な事項は、規則で定める。

(平28条例17・旧第5条繰下)

附 則

この条例は、公布の日から起算して8月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成18年規則第37号で平成18年11月1日から施行)

附 則(平成28年6月17日条例第17号)

(施行期日)

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の寒川文書館条例第3条第3項の規定による指定管理者の指定に必要な公募、申請その他の行為は、この条例の施行日前においても、行うことができる。

## 2) 寒川文書館条例の施行期日を定める規則

平成18年10月24日 規則第37号

寒川文書館条例(平成18年寒川町条例第2号)の施行期日は、平成18年11月1日とする。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

## 3) 寒川文書館管理運営規則

平成18年10月24日 規則第38号

(趣旨)

第1条 この規則は、寒川文書館条例(平成18年寒川町条例第2号。以下「条例」という。)第6条の規定に基づき、寒川文書館(以下「文書館」という。)の管理及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(平30規則16・一部改正)

(事業)

第2条 文書館は、次の事業を行う。

- (1) 郷土の歴史的、文化的価値を有する町の公文書、地域資料、刊行物その他の記録(以下「資料」という。)の収集、整理及び保存
- (2) 資料の館内閲覧及び貸出
- (3) 資料の利用のための相談
- (4) 資料についての調査研究
- (5) 資料についての専門的な知識の普及及び啓発
- (6) 資料の編さん及び刊行
- (7) 他の資料保存活用機関、図書館等との連絡及び協力
- (8) その他文書館の目的達成のために必要な事業

(権限の委任)

第3条 次に掲げる町長の権限は、文書館の長(以下「館長」という。)に委任する。

- (1) 文書館資料の特別利用許可に関する事。
- (2) 寄贈資料の受領及び寄託資料の契約に関する事。

(休館日)

第4条 文書館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(次条において「祝日」という。)の場合を除く。)
- (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで
- (3) 特別整理日(年7日以内で町長が定める日)

2 前項の規定にかかわらず、町長が必要と認めるときは、休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。

(開館時間)

第5条 文書館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、町長が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(平30規則16・一部改正)

(利用の制限)

第6条 館長は、館内の秩序を乱すおそれ又は行為のある者に対しては、入館を制限し、又は退館させることができる。

2 館長は、この規則の規定及び館長の指示に違反した者に対しては、文書館の施設若しくは機器又は資料の利用を一時停止し、又は禁止することができる。

(費用負担)

第7条 資料の利用は、無料とする。

(閲覧手続)

第8条 資料を閲覧するときは、寒川文書館資料閲覧申込書(第1号様式)により館長に申し込まなければならない。ただし、開架書架及び閲覧コーナーの書架に置かれている資料については、この限りでない。

(利用場所)

第9条 館内で資料を利用する者は、所定の場所で利用しなければならない。

(利用に供しない資料)

第10条 資料のうち次に掲げるものについては、一般の利用に供しないものとする。ただし、館長が特に必要があると認めた場合は、この限りではない。

- (1) 整理及び目録の作成が終了していないもの。
- (2) 劣化等保存上の理由から利用に供することが適当でないもの。
- (3) 寄贈又は寄託を受けた資料で、一般の利用に供しない旨の条件の付されたもの。
- (4) 一般の利用に供することにより、個人又は法人その他の団体の権利又は利益を害するおそれがあると認められるもの。
- (5) 一般の利用に供することにより、公共安全と秩序の維持に支障を及ぼすおそれがあると認められるもの。
- (6) 一般の利用に供することにより、国又は地方公共団体の事務事業の執行に支障を及ぼすおそれがあると認められるもの。
- (7) その他、館長が特に指定するもの。

(館外貸出)

第11条 資料の館外貸出は原則として行わないものとする。ただし、館長があらかじめ定める一部の刊行物については、館外貸出ができるものとする。

2 館外貸出を受けることのできる者は、寒川総合図書館管理運営規則(平成18年寒川町教育委員会規則第2号)第5条第2項に規定する図書館利用券の交付を受けた者に限る。

3 前2項による館外貸出の期間は、貸出日から15日以内とし、同時に貸出を受けることのできる点数は、未返却資料も含めて5点までとする。ただし、館長が必要と認めたときは、期間及び点数を変更することができる。

4 前項の貸出期間の延長は、貸出期間内に延長の申し出があつた場合に限り、申し出があつた日から15日間を限度として認めることができる。

5 第1項で対象とした以外の資料及び第2項で対象とした以外の者についても、館長が特別な理由があると認めたときは、あらかじめ日数を区切つて館外貸出することができる。

(平29規則8・一部改正)

(特別利用)

第12条 資料の全部又は一部の出版物等への掲載、展示、放映その他特別な利用を行う場合は、寒川文書館資料特別利用申請書(第2号様式)を提出し、寒川文書館資料特別利用承認書(第3号様式)の交付を受けなければならない。

(資料の弁償)

第13条 利用者は、資料を著しく汚損し、破損し、又は紛失したときは、館長が指定する方法により弁償しなければならない。

(資料の複写)

第14条 利用者は、資料を複写することができる。ただし、次に掲げる資料は、複写することができない。

- (1) 複写することが著作権法(昭和45年法律第48号)に抵触する資料
- (2) 寄託の契約において複写が制限されている資料
- (3) 複写により損傷するおそれのある資料



2 前項第3号の規定にかかわらず、写真撮影によれば損傷するおそれのない資料であつて、かつ、同項第1号及び第2号のいずれにも該当しないものに限り、利用者の写真機で撮影する方法により複写することができる。

3 資料の複写を希望する者は、寒川文書館複写申請書(第4号様式)を提出し、承認を受けなければならない。

4 資料の複写を行つた者は、その費用を負担しなければならない。ただし、町職員等が職務を執行するために必要な場合は、この限りではない。

(平29規則8・一部改正)

(資料の寄贈及び寄託)

第15条 文書館は、館長が特に必要と認めたときは資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた資料の管理については、寒川町が所有する資料の例による。ただし、寄託者の承諾がある場合のほかは、複写及び館外貸出を行わない。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、文書館の管理及び運営に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この規則は、平成18年11月1日から施行する。

附 則(平成29年3月31日規則第8号)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年6月15日規則第16号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第5条第1項の改正規定は、平成30年7月1日から施行する。

第1号様式(第8条関係)

## 寒川文書館資料閲覧申込書

年 月 日

(あて先)寒川文書館長

住所(所属)

氏 名

番号	請求記号	資 料 名	所在	出	納
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- 備考 1 太枠内を記入してください。  
2 資料は同時に10点まで閲覧できます。

## 寒川文書館資料特別利用申請書

年 月 日

(あて先)寒川文書館長

申請者 住 所  
氏 名

印

寒川文書館管理運営規則第12条の規定により、文書館資料の特別利用許可を受けたいので、次のとおり申請します。

利用目的				
利用資料	資料番号	資料名	数量	備 考
利用区分	出版・放映・展示・その他( )			
利用期間	年 月 日 から 年 月 日 まで			
利用責任者				

出版、放映、展示などで使用する場合は、申請書とともに企画書を提出してください。

第3号様式(第12条関係)

## 寒川文書館資料特別利用許可書

年 月 日

様

寒川文書館長 印

年 月 日付けで申請のありました、寒川文書館資料の特別利用を、次のとおり許可します。

利用目的				
利用資料	資料番号	資料名	数量	備 考
利用区分	出版・放映・展示・その他( )			
利用期間	年 月 日 から 年 月 日 まで			
利用責任者				

## 許可条件

- (1) 上記の目的以外に使用しないこと。
- (2) 出版物等に使用する場合は、寒川文書館所蔵又は寄託の旨を明示するとともに、当該出版物等を2部当館に寄贈すること。
- (3) 利用にあたって、写真原版等を作成した場合は、当館へ寄贈すること。
- (4) 利用にあたって、著作権法等法令上の問題が生じた場合は、申請者が責任を負うこと。

### 寒川文書館資料複写申請書

年 月 日

(あて先)寒川文書館長

住所(所属)

氏 名

下記のとおり複写したいので申請いたします。複写物の使用については、下記条件を守ります。

使用目的		
複写方法	複写機    マイクロリーダー    写真	
請求記号	資 料 名	枚数

#### 注意事項

- 1 複写物は、この申請書に記載した目的以外には使用しないこと。
- 2 複写の際は、資料の現状を変えないこと。
- 3 複写物の出版掲載、展示等を行うときは、別途許可を得ること。
- 4 複写物の使用によつて著作権法等法令上の問題が生じた場合は、申請者が責任を負うこと。

#### 4) 寒川文書館運営審議会規則

平成18年10月24日 規則第39号

(趣旨)

第1条 この規則は、寒川文書館条例（平成18年寒川町条例第2号）第5条の規定に基づく寒川文書館運営審議会（以下「審議会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（平30規則17・一部改正）

(所掌事項)

第2条 審議会は、次に掲げる事項に関し、寒川文書館長（以下「館長」という。）の諮問に応じるとともに、館長に意見を述べるものとする。

- (1) 寒川文書館（以下「文書館」という。）の年間事業計画に関すること。
- (2) 資料の収集、整理、保存、活用の方針に関すること。
- (3) その他文書館の運営に関し必要と認める事項

(委員)

第3条 審議会の委員（以下、「委員」という。）は、次に掲げる者について町長が委嘱する。

- (1) 町立小中学校長
- (2) 寒川町史編集委員会委員
- (3) 学識経験を有する者
- (4) ボランティア又は資料所蔵者
- (5) 公募による町民

（平26規則14・一部改正）

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によって選出する。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、文書館において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成18年11月1日から施行する。

附 則(平成26年3月31日規則第14号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成30年6月15日規則第17号)

この規則は、公布の日から施行する。

## 5) 寒川文書館寄贈及び寄託資料受入要綱

平成18年10月24日

(趣旨)

第1条 寒川文書館管理運営規則(平成18年寒川町規則第 号)第15条の規定に基づき、古文書その他の記録(以下「資料」という。)の寄贈及び寄託を受けることについて必要な事項を定める。

(寄贈の申込み)

第2条 館長は、資料の寄贈を受けるときは、資料寄贈申込書(第1号様式)の提出を受けるとする。ただし、口頭等により寄贈の意思の確認ができるものについては、この限りでない。

(寄贈資料の受入)

第3条 館長は、前条による申込みを受け、資料の寄贈を受けたときは、寄贈資料受領書(第2号様式)を寄贈者に交付するものとする。

(寄託の申込み)

第4条 館長は、資料の寄託を受けるときは、資料寄託申込書(第3号様式)の提出を受けるとする。

(寄託資料の受入)

第5条 前条の規定による申込みを受け、資料の寄託を受けるときは、別に定める資料寄託契約書により契約を締結するものとする。

(寄託期間)

第6条 寄託期間は、原則として20年間とする。ただし、寄託者と協議のうえ、この期間を短縮し、又は延長することができるものとする。

(受入資料の管理)

第7条 館長は、寄贈資料にあつては、寄贈資料整理簿(第4号様式)、寄託資料にあつては、寄託資料整理簿(第5号様式)を作成して管理を行うこととする。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか資料の寄贈及び寄託に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成18年11月1日から施行する。

第1号様式（第2条関係）

## 資料寄贈申込書

年 月 日

（あて先）寒川文書館長

住 所

氏 名

印

次のとおり資料を寄贈したいので申し込みます。

1 資料名・数量等 （内訳 別紙明細のとおり）

2 特約事項



## 寄贈資料受領書

年 月 日

様

寒川文書館長

印

年 月 日付けで寄贈申し込みのありました次の資料は、確かに受領いたしました。

ご寄贈の意思にそい、当館所蔵資料として大切に管理し、有益に利用したいと存じます。

- 1 資料名・数量等 （内訳 別紙明細のとおり）
  
- 2 特約事項

第3号様式（第4条関係）

## 資料寄託申込書

年 月 日

（あて先）寒川文書館長

住 所

氏 名

印

次のとおり資料を寄託したいので申し込みます。

1 資料名・数量等 （内訳 別紙明細のとおり）

2 特約事項

## 資料寄託契約書

寄託者（以下「甲」という。）と受託者 寒川文書館長（以下「乙」という。）は次のとおり資料の寄託契約を締結する。

（資料の寄託）

第1条 甲は、自己の所有する次の資料を乙に寄託するものとする。

（寄託期間及び契約の更新）

第2条 寄託の期間は、 年 月 日から 年 月 日までとする。

2 前項に定める寄託期間の30日前までに、甲、乙いずれか一方より文書による別段の意思表示がないときは、前項と同じ日数の間、自動的に更新されたものとみなす。

（保管の責任）

第3条 乙は、寄託資料を自己が所有すると同一の注意をもって保管するものとする。

（寄託資料の利用）

第4条 乙は、寄託資料を閲覧、調査研究、展示などのために利用することができる。

ただし、次に掲げる利用については、事前に甲の承諾を得るものとする。

（1）寄託資料の公刊

（2）寄託資料の補修

2 第三者による寄託資料の掲載、放映、展示等の利用については、当該者が甲の承諾を得るものとする。

（経費の負担）

第5条 乙は、寄託資料の搬入又は返還に要する経費のほか、通常の管理に必要な経費を負担する。

（損害賠償の免除）

第6条 天変地異その他不可抗力による寄託資料の損害を受けた場合、乙はその責めを負わないものとする。

（契約の解除及び譲渡の事前協議）

第7条 甲は、第2条に定める寄託期間が満了する前に、資料の返還を特に必要とする場合又は他に譲渡する場合には、事前に乙と協議するものとする。

（寄託資料の返還）

第8条 乙は、寄託資料を甲に返還する場合は、契約の解除された日から30日以内に返還するものとする。

（記載事項の変更）

第9条 甲は住所等の変更があった場合は、速やかに乙に届け出ることとする。

（規定外事項）

第10条 この契約に定めのない事柄については、甲、乙双方の協議のうえ決定するものとする。

る。

この契約の締結を証するため、契約書2通を作成し、甲乙記名捺印のうえ、各自その1通を所持するものとする。

年 月 日

甲 (住所)  
(氏名) 印

乙 神奈川県高座郡寒川町宮山135番地の1  
寒川文書館長 (氏名) 印

第4号様式 (第7条関係)

寄贈資料整理簿

受入年月日	寄贈者住所	寄贈者氏名	資料名	点数	備考	館長	担当



## 6) 寒川町史編集委員会規則

平成12年3月31日

(設置)

第1条 寒川町史を編集し、歴史・文化的資料を永く後世に残すため、寒川町史編集委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 町史の編集に関すること。
- (2) 町史の資料調査及び収集に関すること。
- (3) その他必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会の委員の定数は、6人以内をもつて組織する。

- 2 委員は、学識経験を有する者のうちから町長が委嘱する。

(平15規則10・一部改正)

(任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。

- 2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平15規則10・一部改正)

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員長は、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

(平15規則10・一部改正)

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、町史編さん主管課において処理する。

(委任)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮つて定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

(寒川町史編集委員設置規則の廃止)

- 2 寒川町史編集委員設置規則(昭和61年寒川町規則第3号)は、廃止する。

附 則(平成15年3月31日規則第10号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

**(3) 燻蒸事業に関する要望書**

2018年2月8日

寒川町長 木村 俊雄 様

## 寒川文書館の燻蒸事業に関する要望書

日頃より、寒川文書館には大変お世話になっております。

2月8日には、今年度第2回寒川文書館運営審議会が開催されました。この席上、高木館長様より、平成30年度寒川文書館事業計画案につき、御説明を伺いました。

その口頭御説明によりますと、寒川文書館では、予算削減に伴い今後の文書館資料燻蒸に際し、燻蒸対象となる資料は寒川文書館職員が館外に搬出し、燻蒸業者の施設での燻蒸を終えると、再び寒川文書館職員が業者施設から当該資料を寒川文書館まで搬入することになるとのことでした。

この説明を聞き、審議会としては以下について懸念を抱きました。

1. 職員による文書館資料の搬出・搬入することに関連して、資料に関する事故ある場合の責任の所在が明らかでないこと。
2. 文書館の資料とは、金額的評価が出来ないために搬出入の保険をかけることができない、歴史的価値を有するものであること。
3. そもそも、文書館はその所蔵資料をその場所に永久保存することが文書館の設置趣旨である。いかに予算削減のためとはいえ、このような燻蒸事業の実施方法は、文書館を設置している寒川町が、文書館の事業の本旨を理解していないことを公表するようなものであること。

故に、寒川文書館運営審議会としては、文書館資料の燻蒸事業は従来通り業者来館による作業を可能とするような予算措置を強く求め、速やかな善処をお願いするものです。

以上

## 寒川文書館運営審議会

委員長	小川 千代子
副委員長	内 海 孝
委員	宮崎 文夫
委員	佐原 慧
委員	橋本 壽之
委員	西山 悦子

\*平成30年2月8日、文書館運営審議会委員が連名で、平成30年度予算における資料燻蒸の適切な措置を求め、町長に提出した文面。同年3月2日、小川委員長から木村町長に手渡した。



#### (4) 公文書館法

昭和六十二年十二月十五日法律第百十五号  
最終改正：平成十一年十二月二十二日法律第百六十一号

##### (目的)

第一条 この法律は、公文書等を歴史資料として保存し、利用に供することの重要性にかんがみ、公文書館に関し必要な事項を定めることを目的とする。

##### (定義)

第二条 この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録（現用のものを除く。）をいう。

##### (責務)

第三条 国及び地方公共団体は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる責務を有する。

##### (公文書館)

第四条 公文書館は、歴史資料として重要な公文書等（国が保管していた歴史資料として重要な公文書その他の記録を含む。次項において同じ。）を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

2 公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員その他必要な職員を置くものとする。

第五条 公文書館は、国立公文書館法（平成十一年法律第七十九号）の定めるもののほか、国又は地方公共団体が設置する。

2 地方公共団体の設置する公文書館の当該設置に関する事項は、当該地方公共団体の条例で定めなければならない。

##### (資金の融通等)

第六条 国は、地方公共団体に対し、公文書館の設置に必要な資金の融通又はあつせんに努めるものとする。

##### (技術上の指導等)

第七条 内閣総理大臣は、地方公共団体に対し、その求めに応じて、公文書館の運営に関し、技術上の指導又は助言を行うことができる。

##### 附則（抄）

##### (施行期日)

1 この法律は、公布の日から起算して六月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。（昭和六十三年政令第百六十六号で昭和六十三年六月一日から施行）

##### (専門職員についての特例)

2 当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第四条第二項の専門職員を置かないことができる。

**(5) 公文書等の管理に関する法律（抄）**

平成二十一年七月一日法律第六十六号

最終改正：平成二十一年七月一〇日法律第七六号

**第一章 総則****(目的)**

第一条 この法律は、国及び独立行政法人等の諸活動や歴史的事実の記録である公文書等が、健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源として、主権者である国民が主体的に利用し得るものであることにかんがみ、国民主権の理念にのっとり、公文書等の管理に関する基本的事項を定めること等により、行政文書等の適正な管理、歴史公文書等の適切な保存及び利用等を図り、もって行政が適正かつ効率的に運営されるようにするとともに、国及び独立行政法人等の有するその諸活動を現在及び将来の国民に説明する責務が全うされるようにすることを目的とする。

**(地方公共団体の文書管理)**

第三十四条 地方公共団体は、この法律の趣旨にのっとり、その保有する文書の適正な管理に関して必要な施策を策定し、及びこれを実施するよう努めなければならない。

**(6) 全国の公文書館****1) 国の機関**

国立公文書館	102-0091	東京都千代田区北の丸公園3-2	03-3214-0621
--------	----------	-----------------	--------------

**2) 都道府県の機関**

北海道立文書館	060-8588	札幌市中央区北三條西六丁目	011-204-5073
青森県公文書センター	030-8570	青森市長島1-1-1	017-722-1111
宮城県公文書館	981-3205	仙台市泉区紫山1-1-1	022-341-3231
秋田県公文書館	010-0952	秋田市山王新町14-31	018-866-8301
山形県公文書センター	991-8501	寒河江市大字西根字石川西355	0237-83-1215
福島県歴史資料館	960-8116	福島市春日町5-54	024-534-9193
茨城県立歴史館	310-0034	水戸市緑町2-1-15	029-225-4425
栃木県立文書館	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-3450
群馬県立文書館	371-0801	前橋市文京町3-27-26	027-221-2346
埼玉県立文書館	330-0063	さいたま市浦和区高砂4-3-18	048-865-0112
千葉県文書館	260-0013	千葉市中央区中央4-15-7	043-227-7555
東京都公文書館	158-0094	世田谷区玉川1-20-1	03-3707-2601
神奈川県立公文書館	241-0815	横浜市旭区中尾1-6-1	045-364-4459
新潟県立文書館	950-8602	新潟市中央区女池南3-1-2	025-284-6011
富山県公文書館	930-0115	富山市茶屋町33-2	076-434-4050

## 寒川文書館年報 第12号

福井県文書館	918-8113	福井市下馬町51-11	0776-33-8890
長野県立歴史館	387-0007	千曲市大字屋代字清水 科野の里歴史公園内	026-274-2000
岐阜県歴史資料館	500-8014	岐阜市夕陽ヶ丘4	058-263-6678
愛知県公文書館	460-0001	名古屋市中区三の丸2-3-2	052-954-6025
三重県総合博物館	514-0061	津市一身田上津部田3060	059-228-2283
滋賀県県政資料室	520-8577	大津市京町四丁目1-1 県庁新館3階	077-528-3126
京都府立京都学・歴彩館	606-0823	京都市左京区下鴨半木町1-4	075-723-4834
大阪府公文書館	540-8570	大阪府中央区大手前2-1-22	06-6944-8373
兵庫県公館県政資料館	650-8567	神戸市中央区下山手通四丁目4-1	078-362-4133
奈良県立図書情報館	630-8135	奈良市大安寺西1-1000	0742-34-2111
和歌山県立文書館	641-0051	和歌山市西高松1-7-38	073-436-9540
鳥取県立公文書館	680-0017	鳥取市尚徳町101	0857-26-8160
岡山県立記録資料館	700-0807	岡山市北区南方2-13-1	086-222-7838
島根県公文書センター	690-8501	島根県松江市殿町1番地	0852-22-6889
広島県立文書館	730-0052	広島市中区千田町3-7-47	082-245-8444
山口県文書館	753-0083	山口市後河原150-1	083-924-2116
徳島県立文書館	770-8070	徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内	088-668-3700
香川県立文書館	761-0301	高松市林町2217-19	087-868-7171
福岡共同公文書館	818-0041	筑紫野市上古賀1-3-1	092-919-6166
佐賀県公文書館	840-8570	佐賀市城内1-6-5	0952-25-7365
大分県公文書館	870-0008	大分市王子西町14-11	097-546-8840
宮崎県文書センター	880-0803	宮崎市旭1-3-6	0985-26-7027
沖縄県公文書館	901-1105	沖縄県島尻郡南風原町新川148-3	098-888-3875

### 3) 政令指定都市の機関

札幌市公文書館	064-0808	札幌市中央区南8条西2丁目	011-521-0205
川崎市公文書館	211-0051	川崎市中原区宮内4-1-1	044-733-3933
相模原市公文書館	252-5192	相模原市緑区久保沢1-3-1	042-783-8053
名古屋市市政資料館	461-0011	名古屋市東区白壁1-3	052-953-0051
大阪市公文書館	550-0014	大阪市西区北堀江4-3-14	06-6534-1662
神戸市文書館	651-0056	神戸市中央区熊内町1-8-21	078-232-3437
広島市公文書館	730-0051	広島市中区大手町4-1-1	082-243-2583
北九州市立文書館	803-0814	北九州市小倉北区大手町11-5	093-561-5558
福岡市総合図書館	814-0001	福岡市早良区百道浜3-7-1	092-852-0606

### 4) 政令指定都市以外の市区町村の機関

大仙市アーカイブズ	019-2335	秋田県大仙市強首上野台1-2	0187-77-2004
常陸大宮市文書館	319-2226	茨城県常陸大宮市北塩子1721	0295-52-0571
小山市文書館	323-0031	栃木県小山市八幡町2-4-24	0285-25-7222
芳賀町総合情報館	321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1078	028-677-2525

中之条町歴史と民俗 の博物館ミュージ アム	377-0424	群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町947-1	0279-75-1922
久喜市公文書館	346-8501	埼玉県久喜市下早見85-1	0480-23-5010
八潮市立資料館	340-0831	埼玉県八潮市南後谷763-50	048-997-6666
戸田市アーカイブズセンター	335-0021	埼玉県戸田市大字新曽1707	048-443-5600
板橋区公文書館	173-0001	東京都板橋区本町24-1	03-3579-2291
ふるさと府中歴史館	183-0023	東京都府中市宮町3-1	042-335-4393
武蔵野ふるさと歴史館	180-0022	東京都武蔵野市境5-15-5	0422-53-1811
藤沢市文書館	251-0054	神奈川県藤沢市朝日町12-6	0466-24-0171
上越市公文書センター	943-0595	上越市清里区荒牧18 清里区総合事務所	025-528-3110
富山市公文書館	939-2798	富山市婦中町速星754	076-465-3530
長野市公文書館	380-0801	長野市箱清水11-3-8 長野市城山分室内	026-232-8050
松本市文書館	390-1242	長野県松本市大字和田1058-2	0263-47-0040
小布施町文書館	381-0297	長野県上高井郡小布施町大字小布施1491-2	026-214-9111
上田市公文書館	386-0413	長野県上田市東内2564-1	0268-75-6682
須坂市文書館	382-0013	長野県須坂市大字須坂812-2	026-285-9041
東御市文書館	389-0404	長野県東御市大日向337 北御牧庁舎	0268-75-2717
安曇野市文書館	399-8211	長野県安曇野市堀金烏川2753-1	0263-71-5123
長和町文書館	386-0701	長野県小県郡長和町和田147-3長和の里歴史館	0268-88-0030
高山市公文書館	506-0101	岐阜県高山市清見町牧ヶ洞2447	0557-68-2424
磐田市歴史文書館	438-0204	磐田市岡729-1	0538-66-9112
守山市公文書館	524-8585	滋賀県守山市吉身3-6-3	077-514-1050
尼崎市立地域研究史料館	660-0881	兵庫県尼崎市昭和通2-7-16	06-6482-5246
高松市公文書館	769-0192	高松市国分寺町新居1298	087-874-4147
三豊市文書館	768-0103	香川県三豊市山本町財田西375	0875-63-1010
西予市城川文書館	797-1701	愛媛県西予市城川町土居335	0894-833-0066
太宰府市公文書館	818-0110	太宰府市御笠5-3-1	092-921-2322
天草市立天草アーカイブズ	863-0013	熊本県天草市五和町御領2943	0969-25-5515
北谷町公文書館	904-0192	沖縄県中頭郡北谷町字桑江226	098-936-1234

令和元年9月現在。国立公文書館のリンク集を参考とした。

## (7) 町史刊行物

### 寒川町史 本編

	書名	価格	送料	内容
1	古代・中世・近世(1)	¥5,000	¥560	古代の寒川神社の様子、一宮に館を構えた鎌倉幕府の重臣梶原景時、江戸時代の村々の地誌や領主の系譜など、古代から近世までの基本史料を載せています。
2	近世(2)	¥5,000	¥560	江戸時代の村方文書を中心に270点余りを掲載。村の概要、

資料 編				年貢や支配、相模川の治水や渡船、産業、村の事件など、多岐にわたる史料を翻刻しました。	
	3	近世(3)	¥5,000	¥560	近世後期、治安の悪化した関東地方を再編成するため設けられた支配制度「寄場組合」。一之宮村の寄場の史料を中心に、この制度の顛末を描きます。
	4	近現代(1)	¥5,000	¥560	明治維新から村制施行(明治22年)までの社会・経済・生活、および明治から大正にかけての行政の推移について、基本的な史料を収めました。
	5	近現代(2)	¥5,000	¥560	明治中期から昭和20年前後までの社会・経済・生活・教育などの史料を載せるとともに、昭和戦前期の行政の概要を示す事務報告書を掲載しました。
通 史	6	原始・古代・中世・近世	¥5,000	¥560	旧石器時代から江戸時代まで一万年あまりの寒川の歴史をこの1冊に凝縮しました。写真や図表をたくさん用い、わかりやすい文章でお読みいただけるよう心掛けました。
	7	近現代	¥5,500	¥560	明治・大正・昭和、そして平成へ。近代寒川の歩みを、行政、経済、生活、文化など、さまざまな角度から説き明かします。
別 編	8	考古	¥7,000	¥560	全国でも最大級の縄文時代の集落・岡田遺跡をはじめ、町内で発掘された遺跡や遺物を時代ごとに紹介し、たくさんの図面や写真を用いて解説を加えました。
	9	神社	¥5,000	¥560	寒川の人々が、相模国一宮寒川神社および村々の鎮守とどのようにかかわってきたのかを、さまざまな角度から紹介します。
	10	寺院	¥5,000	¥560	町内にあった寺院やお堂について、その由緒をまとめました。また、高野山や大山など遠隔地の霊場と寒川の人々とのつながりについて積極的にとりあげました。
	11	美術工芸	¥7,000	¥560	町内の寺社などに伝わる彫刻、絵画、工芸品や、路傍の石造物などを広く調査し、網羅的にまとめました。寒川の文化や信仰の姿を知るてがかりになります。
	12	民俗	¥5,000	¥560	町内の大勢の皆さんのご協力を得て、生業、衣食住、村づきあい、年中行事、儀礼、言葉など、戦前の暮らしについてまとめ、巻末には生活史年表を載せました。
	13	事典・年表	¥3,000	¥450	歴史的事項をはじめ人物、地名、公共施設、団体など寒川のあらゆることを簡単に解説。年表、小字一覧、特別職一覧など参考資料も充実。郷土の学習に最適です。
	14	統計	¥4,000	¥560	明治初期から現代まで、寒川の近代のあゆみを数字で示しました。人口、農業、教育、気象など13のジャンルに分けた寒川を知る基礎データです。
	15	図録	¥3,000	¥560	原始時代から現代までの寒川の歴史を、1000枚以上におよぶ写真や図表で綴った「目でみる通史」です。

## 4 参考資料

16	ダイジェスト	¥3,000	¥450	寒川の歴史に関する100の話題を選びやさしくまとめました。オールカラーで写真もたくさんなので、寒川を知る入門書としてぜひご活用ください。
----	--------	--------	------	--

**寒川町史研究**

	価格	送料	内 容
創刊号	(品切)		座談会「町史編さんと資料保存」
第2号	¥500	¥215	特集・寒川神社
第3号	¥500	¥215	特集・近代寒川のあゆみ
第4号	(品切)		特集・高野聖と相模国
第5号	¥500	¥215	特集・寒川の民俗
第6号	¥1,000	¥215	特集・相模海軍工廠
第7号	¥1,000	¥215	特集・江戸時代の寒川
第8号	¥1,000	¥215	特集・相模海軍工廠Ⅱ
第9号	¥1,000	¥215	特集・寒川の女性たち
第10号	¥1,000	¥215	特集・相模海軍工廠Ⅲ
第11号	¥1,000	¥215	特集・数字でみる寒川
第12号	¥1,000	¥215	特集・町史編さん資料の保存と活用
第13号	¥1,000	¥215	特集・梶原景時と一宮
第14号	¥500	¥215	特集・写真資料の保存と活用
第15号	¥1,000	¥215	特集・寒川のみち
第16号	¥500	¥215	特集・町史編さん事業の軌跡
第17号	¥500	¥215	特集・寒川の災害
第18号	¥500	¥215	特集・新しい考古学の成果
第19号	¥500	¥215	特集・使ってみよう 寒川の記録資料
第20号	¥500	¥215	特集・ようこそ！文書館へ
第21号	¥500	¥215	特集・追悼児玉幸多先生・開館1周年記念事業
第22号	¥500	¥215	特集・高野聖と相模国Ⅱ
第23号	¥500	¥215	特集・花川用水と目久尻川
第24号	¥500	¥215	特集・相模線とその記録
第25号	¥500	¥215	特集・明治時代の寒川神社
第26号	¥500	¥180	特集・関東大震災と寒川
第27号	¥500	¥180	特集・下寺尾官衙遺跡群を学ぶ
第28号	¥500	¥215	特集・寒川と茅ヶ崎の浜降祭
第29号	¥500	¥180	特集・襖に閉じ込められた地域の歴史
第30号	¥500	¥215	特集・マッチラベルのデジタルアーカイブ

**寒川町史調査報告書**

	価格	送料	内 容
第1集	(品切)		高野山高室院資料(1)

第2集	¥2,000	¥300	高野山高室院資料(2)
第3集	¥1,500	¥215	はなし・ことば・あそび・うた
第4集	¥1,500	¥300	近代寒川の要覧と人物伝
第5集	¥1,500	¥300	ことばのしおり
第6集	¥2,000	¥300	高野山高室院資料(3)
第7集	¥1,500	¥300	明治初期の御用留
第8集	¥1,500	¥300	旭学校沿革誌
第9集	¥1,500	¥300	近・現代の石造物
第10集	¥1,000	¥300	寒川神社日記(1)
第11集	¥1,000	¥300	寒川神社日記(2)
第12集	¥1,000	¥300	浜降祭日記
第13集	¥500	¥300	寒川の絵はがき
第14集	¥500	¥300	浜降祭日記(2)
第15集	¥500	¥350	国勢調査と寒川
第16集	¥500	¥300	占領軍時代の寒川町警察
第17集	¥500	¥300	浜降祭日記(3)
第18集	¥500	¥300	寒川町長の所信表明と施政方針(1)
第19集	¥500	¥300	浜降祭日記(4)
第20集	¥500	¥300	寒川神社日記(3)
第21集	¥500	¥300	大蔵自治会文書(1)
第22集	¥500	¥300	寒川のマッチラベルー三枝惣治氏コレクションよりー

### 寒川町史資料所在目録

	価格	送料	内 容
第1集	¥500	¥300	田端・岡田・小動諸家文書
第2集	¥1,500	¥350	田端自治会文書他
第3集	¥500	¥300	寒川神社文書
第4集	¥1,000	¥300	入沢章家文書
第5集	¥500	¥300	一之宮八幡宮文書他
第6集	¥500	¥300	田端・小動・宮山諸家文書
第7集	¥1,000	¥300	大蔵自治会文書
第8集	¥1,000	¥300	皆川邦直家文書
第9集	¥1,500	¥300	倉見地区諸家文書
第10集	¥1,500	¥300	宮山地区諸家文書
第11集	¥1,500	¥300	一之宮・中瀬・大曲諸家文書
第12集	¥1,500	¥300	岡田・小谷地区諸家文書
第13集	¥1,500	¥300	田端・小動地区諸家文書
第14集	¥1,500	¥300	町外宗教史関係資料
第15集	¥500	¥215	町外資料調査報告
第16集	(品切)		高野山高室院文書

**寒川町史新聞記事目録**

	価格	送料	内 容
第1集	¥500	¥215	横浜貿易新報 明治24～45年
第2集	¥500	¥215	横浜貿易新報 大正1～8年
第3集	¥500	¥300	横浜貿易新報 大正9～15年
第4集	¥500	¥300	横浜貿易新報 昭和1～6年
第5集	¥500	¥300	横浜貿易新報 昭和7～9年
第6集	¥1,000	¥215	横浜貿易新報 昭和10～12年
第7集	¥1,000	¥215	横浜貿易新報 昭和13～18年
第8集	¥1,000	¥215	神奈川新聞 昭和19～25年
第9集	¥1,000	¥215	神奈川新聞 昭和26～30年
第10集	¥1,000	¥215	神奈川新聞 昭和31～35年
第11集	¥1,000	¥215	神奈川新聞 昭和36～39年

**寒川文書館開館記念誌**

	価格	送料	内 容
	¥500	¥300	開館を記念した寄稿、座談会、展示会記録、データ集など

**町制施行70周年記念誌**

	価格	送料	内 容
	¥500	¥215	平成22年刊。「文人町長と工業市街地化」

**目でみる寒川**

	価格	送料	内 容
	¥1,000	¥300	昭和55年刊。町制施行40周年を記念して編集した図録集

**絵はがき集**

	価格	送料	内 容
1	¥500	¥120	1960年代の相模線（8枚組）
2	¥500	¥120	相模線最後の気動車 1990－1991（8枚組）
3	¥500	¥120	目久尻川沿岸農業水利改良工事竣工記念絵葉書（8枚組）
4	¥500	¥120	国幣中社寒川神社遷宮奉祝祭絵葉書（8枚組）
5	¥500	¥120	倉見の風景（8枚組）
6	¥500	¥120	浜降祭 1936（8枚組）
7	¥500	¥120	一之宮の風景（8枚組）
8	¥500	¥120	宮山の風景－建物編－（8枚組）
9	¥500	¥120	宮山の風景－街かど編－（8枚組）
10	¥500	¥120	さよなら西寒川駅・寒川支線（8枚組）

令和元年7月現在



---

本の購入方法

---

- ・文書館窓口へ直接お越してください。
- ・郵送をご希望の方は、代金分の定額小為替に送料分の切手を添えて、封書で下記宛にお申し込みください。複数冊ご購入のときの送料は、事前にお問い合わせください。

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川文書館

電話0467-75-3691 FAX0467-75-3758

- ・送料は令和元年10月1日より改訂の予定です。

**寒川文書館年報 第12号（平成30年度）**

発行日 令和元年(2019)9月30日

編集・発行 寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

<https://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp/bunsyo/>